

オーディオ／ビジュアル

本機では、ラジオ、テレビ、DVD※など、視聴したい音源や映像を選んでお楽しみいただけます。詳しい操作方法は、各ソースのページをご覧ください。

※ [LXU-242NBi] のみの機能です。

オーディオ／ビジュアルの基本的な使いかた	78	SDカードの音楽を聴く	102
オーディオソース一覧から再生（視聴）する ソースを選ぶ	78	SDカードの音楽を再生する	102
オーディオをON/OFFする	79	操作画面.....	102
オーディオの音量を調整する.....	79	オーディオファイル再生時の操作.....	103
オーディオ画面／地図画面を切り替える.....	79	SDカードのビデオファイルを見る	105
ディスクを挿入する／取り出す.....	80	SDカードのビデオを再生する	105
SDカードを挿入する／取り出す	81	操作画面.....	106
USBメモリーを本機と接続する	82	ビデオファイル再生時の操作.....	106
iPodを本機と接続する	82	USBメモリーの音楽を聴く	108
CD、音楽データディスクの音楽を聴く	83	USBメモリーの音楽を再生する	108
操作画面.....	83	操作画面.....	108
ディスク再生時の操作.....	83	オーディオファイル再生時の操作.....	109
録音の設定をする（CDのみ）	85	USBメモリーのビデオファイルを見る	111
DVDを見る	86	USBメモリーのビデオを再生する	111
操作画面.....	86	操作画面.....	112
DVD再生時の操作	86	ビデオファイル再生時の操作.....	112
DVDの設定をする	88	Music Rackを使う	114
テレビを見る.....	90	Music Rackに録音する	114
操作画面.....	91	録音の設定をする.....	114
テレビの選局をする.....	91	操作画面.....	116
オーディオメニュー画面.....	92	Music Rack再生時の操作	117
機能メニュー画面.....	93	曲を探す.....	118
ラジオを聴く.....	94	アルバム・トラック情報を編集する.....	118
操作画面.....	94	曲を消去する.....	119
ラジオ受信時の操作.....	95	アルバム情報を更新する.....	119
iPodを聴く	96	HDMI対応機器を使用する	120
操作画面.....	96	HDMI機器を再生する	120
iPod再生時の操作	97	画面や画質を調整する.....	121
曲を探す.....	98	動画再生時の画面を調整する.....	121
Bluetoothオーディオを聴く.....	99	音声再生時の画面を調整する.....	121
操作画面.....	100	オーディオ設定.....	122
Bluetoothオーディオ再生時の操作.....	100	音質を調整する.....	126
曲を探す.....	101	オーディオソース一覧画面をカスタマイズする	127

オーディオ／ビジュアルの基本的な使いかた

オーディオソース一覧から再生（視聴）するソースを選ぶ

警告

- 本機は安全のため、停車時のみテレビ、ビデオファイルなどの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- 運転者がテレビ、ビデオファイルなどの映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

本機では、ラジオ・テレビ・CD*・DVD*の視聴、iPod・SDカード*・USBメモリー・Bluetooth/HDMI対応機器など、視聴したい音源や映像を選んでお楽しみいただけます。詳しい操作方は、各ソースのページをご覧ください。

- Apple CarPlay→ P.22
- Android Auto→ P.24
- CD*、音楽データディスク*→ P.83
- DVD*→ P.86
- テレビ→ P.90
- ラジオ→ P.94
- iPod→ P.96
- Bluetoothオーディオ→ P.99
- SDカード*（音楽・動画）→ P.102、P.105
- USBメモリー（音楽・動画）→ P.108、P.111
- Music Rack*→ P.114
- HDMI対応機器→ P.120

* [LXU-242NBi] のみの機能です。

MEMO

- アーティスト名、アルバム名、曲名は、正しく表示されないことがあります。

1 HOME ▶ Audio Source一覧



オーディオソース一覧画面が表示されます。

2 再生（視聴）するソースを選択



ページ送り／戻り

MEMO

- [AUDIO] を押ししてもオーディオソース一覧画面が表示されず、もし再生中のオーディオ画面が表示された場合は、再度 [AUDIO] を押してください。
- 画面上を左右にスワイプ／フリックしてもページ送り／戻しができません。
- 接続していない機器のソースは、表示されないことがあります。
- オーディオソース一覧画面のカスタマイズができます。→ P.127

オーディオをON/OFFする

1 音量ノブを押す

オーディオのON/OFFが切り替わります。

—  お知らせ —

- Bluetoothオーディオソースの場合、Bluetoothオーディオ機器の仕様によっては、オーディオをOFFにしたり本機の電源を切ったりしても、再生を継続するものがあります。電池の消費などが気になる場合には、機器側で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

—  MEMO —

- 音量ノブを押すと、AUDIO POWER OFF画面になり、再生が一時停止します。再度音量ノブを押すと、再生画面に戻り、再生が再開されます。

オーディオの音量を調整する

1 オーディオ再生中に音量ノブを回す



—  MEMO —

- AUDIO POWER OFF画面では、音量調整はできません。
- オーディオの音量を調整しても、音声案内の音量は調整されません。→ P.182

オーディオ画面／地図画面を切り替える

地図画面をオーディオ画面に切り替える

1 **AUDIO** を押す

オーディオ画面を地図画面に切り替える

1 **現在地** を押す

LXU-242NBI

ディスクを挿入する／取り出す

警告

- ディスクは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するか、または取り出してください。

お願い

- ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。

ディスクの挿入

お願い

- ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。重ねて挿入した場合、ディスクをパネルで挟み込んでしまうことがあります。

1 を押す ▶ DISPLAY OPEN



操作パネルが開きます。

MEMO

- 指で画面の下から上へフリック（ジェスチャー操作）しても、操作パネルが開きます。→ P.21
- フリックによる操作パネルの開閉機能は、ジェスチャー操作での開閉 ▶ **する／しない** で変更できます。

2 ディスクのレーベル面を上にして、挿入口に差し込む



操作パネルが自動的に閉まり、ディスクの再生がはじまります。

お知らせ

- ディスクを途中まで差し込んでも自動的に引き込まれない場合は、すでに別のディスクが挿入されています。無理やり挿入せずに、別のディスクを取り出してから挿入し直してください。


ディスクの取り出し

1 を押す ▶ DISC EJECT

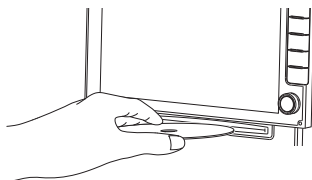


操作パネルが開き、ディスクが排出されます。

MEMO

- 指で画面の下から上へフリックして操作パネルを開き、**DISC EJECT** をタッチすることもできます。→ P.21
-  を長押しし、強制的に排出することもできます。

2 ディスクを取り出す



3 **DISPLAY CLOSE**、または

を押す

操作パネルが閉まります。

MEMO

- 指で画面の上から下へフリックしても、操作パネルが閉まります。→ P.21

LXU-242NBI

SDカードを挿入する／取り出す

オーディオ・ビジュアルのデータをお楽しみいただくには、SDカードを本機に挿入してください。

⚠ 警告

- SDカードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するか、または取り出してください。

❗ お願い

- SDカードの端子面には触れないでください。
- SDカード／USBメモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

SDカードの挿入

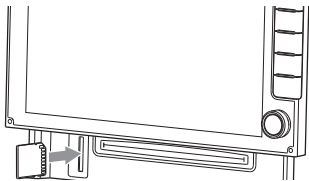
1  を押す ▶ **DISPLAY OPEN**

操作パネルが開きます。

—  MEMO —

- 指で画面の下から上へフリックしても、操作パネルが開きます。→ P.21
- フリックによる操作パネルの開閉機能は、**ジェスチャー操作での開閉 ▶ する／しない** で変更できます。

2 SDカード挿入口へ、SDカードのラベル面を左側にして奥に差し込む



❗ お願い

- カチッと音がするまで、SDカードを奥にしっかりと差し込んでください。

3 **DISPLAY CLOSE**、または  を押す

操作パネルが閉まります。

—  お知らせ —

- SDカードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。
- 指で画面の上から下へフリックしても、操作パネルが閉まります。→ P.21

SDカードの取り出し

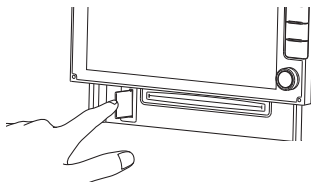
1  を押す ▶ **DISPLAY OPEN**

操作パネルが開きます。

—  MEMO —

- 指で画面の下から上へフリックしても、操作パネルが開きます。→ P.21

2 SDカードを押す



SDカードが少し飛び出します。

3 SDカードを取り出す

❗ お願い

- SDカードを取り出すときは、指でSDカードをしっかりとつまんでください。SDカードが飛び出すおそれがあります。

4 **DISPLAY CLOSE**、または

 を押す

操作パネルが閉まります。

—  お知らせ —

- 指で画面の上から下へフリックしても、操作パネルが閉まります。→ P.21

USBメモリーを本機と接続する

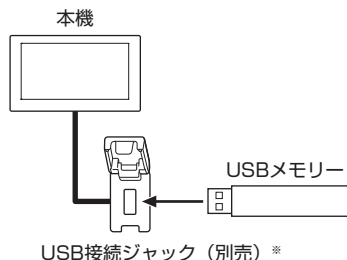
❗ お願い

- USBメモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のUSBメモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- USBメモリーに保存したファイルを再生中に、USBメモリーを取り外さないでください。故障の原因となります。

— お知らせ —

- USB接続ジャックを使用していないときは、カバーを閉じてください。
- USB接続ジャックにiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。iPodを外してから、USBメモリーを接続してください。

1 USB接続ジャックにUSBメモリーを接続する

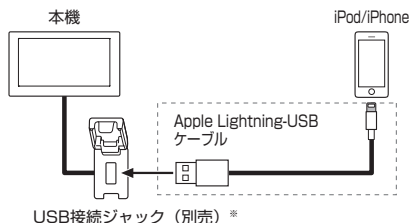


- ※車両標準装備のUSB接続ジャックがある場合は、別売品は不要です。また、USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。

iPodを本機と接続する

❗ お願い

- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のiPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。



- ※車両標準装備のUSB接続ジャックがある場合は、別売品は不要です。また、USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。

— お知らせ —

- USB接続ジャックにUSBメモリーなどを接続している場合は、取り外してからiPodを接続してください。
- USB接続ジャックを使用していないときは、カバーを閉じてください。

— MEMO —

- 上記方法でiPod/iPhoneの充電が可能です。ただし、iPod/iPhoneの機種、およびアプリケーションの使用状況により、充電速度は異なります。
- USBハブを使用してiPodやiPhoneを接続しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、接続しないでください。
- 本機と接続するときは、イヤホン、ヘッドホンなどのアクセサリを使用しないでください。

LXU-242NBI

CD、音楽データディスクの音楽を聴く

本機では、音楽CDのほかに、MP3・WMA・AAC・FLAC・WAV形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

MEMO

- 以下のディスクを再生すると、アーティスト名、曲名などの情報が表示されます。
 - ID3タグ、WMAタグ、AACタグ、Vorbisコメントのついたディスク
 - 本機内蔵、またはオンライン上のデータベース「Gracenote Music Recognition ServiceSM」から情報が取得できる音楽CD → P.231

上記以外のディスクを再生した場合は、「01」などのトラック番号のみ表示されます。

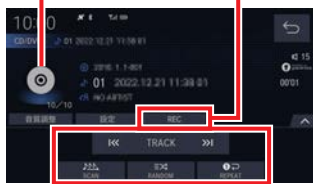
操作画面

1 音楽CDか音楽データディスクを挿入する、または **HOME**

▶ **Audio Source** 一覧 ▶ **CD/DVD**

本機に挿入されたCDが再生されます。
(CDの場合)

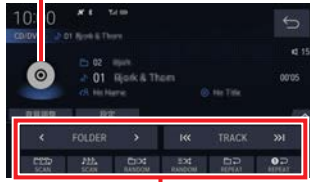
CDモード Music Rackに手動で録音します。→ P.115



操作キー

(音楽データディスクの場合)

CDモード



操作キー

音質調整：

音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

お知らせ

- 操作パネルが完全に閉じるまで再生は始まりません。
- 音楽CDや音楽データディスクでの再生時は、一時停止をすることができません。必要なときは音量ノブを押してオーディオON/OFFを切り替えてください。

ディスク再生時の操作

早戻し／早送りする

1 再生中に **⏮** (早戻し)、または **⏭** (早送り) を長押し

MEMO

- ⏮** または **⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

1 再生中に **⏮** または **⏭**

MEMO

- ⏮** をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに **⏮** をタッチするごとに前の曲に移動します。

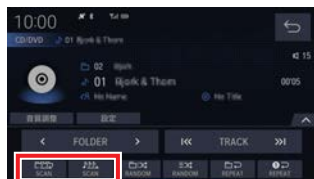
前／次のフォルダを再生する (音楽データディスク再生時)

- 1 再生中に **◀ または ▶**
前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の
先頭の曲が再生されます。

スキャンして曲を探す

曲の先頭を10秒ずつ再生して、聴きたい曲を探
します。

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **CD/DVD**
- 3 **SCAN**



▶▶▶ SCAN :
ディスク内にある各フォルダの1曲目の
冒頭10秒ずつを順に再生する。(音楽デー
タディスクのみ)

それぞれのフォルダにどのような曲が入っ
ているかを判断する手がかりにします。

▶▶▶▶ SCAN :
ディスク内の全曲の冒頭10秒ずつを順に
再生する。
フォルダがある場合は、現在再生してい
るフォルダに入っている曲の冒頭10秒ず
つを順に再生します。

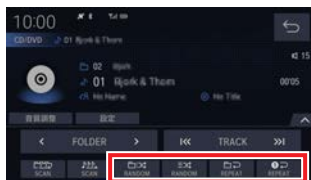
スキャン再生がはじまります。

- 4 聴きたい曲が再生されたら、**中止** を
タッチ

ディスク再生画面に戻り、タッチしたとき
に再生していた曲が引き続き再生されます。

ランダム・リピート再生をする

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **CD/DVD**
- 3 **RANDOM** または **REPEAT**



(ランダムの場合)

◻◻◻ RANDOM :
再生中のフォルダの全曲を順不同に再
生する。(音楽データディスクのみ)

◻◻◻◻ RANDOM :
ディスク内の全曲を順不同に再生する。

(リピートの場合)

◻◻◻◻ REPEAT :
再生中のフォルダ内の全曲を繰り返し
再生する。(音楽データディスクのみ)

①◻◻ REPEAT :
再生中の曲のみを繰り返し再生する。

MEMO

- ランダム、リピート中に再度同じ項目をタッチ
すると、ランダム、リピートは解除されます。

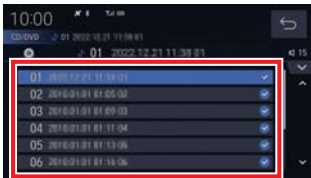
タイトルリストから再生する

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **CD/DVD**
- 3 操作画面の上部をタッチ



トラックリストが表示されます。

- 4 聴きたい曲をタッチ
(CDの場合)



リストスイッチ

(音楽データディスクの場合)



リストスイッチ

MEMO

- 音楽データディスクの場合、**CD** タブと **🎵** タブが表示されます。**CD** タブでフォルダを選択してから、**🎵** タブで選択したフォルダに入っている曲を選択します。
- ID3タグ、WMAタグ、AACタグ、Vorbisコメントの入ったディスクの場合、曲名などが表示されます。それ以外のディスクの場合、「01」などのトラック番号のみ表示されます。

録音の設定をする (CDのみ)

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **CD/DVD**
- 3 **設定**
- 4 設定したい項目を選択

CD挿入時に自動録音：

自動録音モードにする／しないを設定する。(初期値：する)

録音時にアルバム情報をオンラインで自動取得：
本機内蔵のデータベースからアルバム情報が得られない場合、録音開始時にオンライン経由で自動的に情報を取得するかどうかを設定する。(初期値：する)

CDDBのバージョン情報を表示する：
音楽CDの演奏者や制作年度などの情報が格納されたデータベースのバージョンを表示する。

MEMO

- この設定はMusic Rackの録音設定項目と連動しています。→ P.114

LXU-242NBi

DVDを見る

警告

- 本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- 運転者がDVDの映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

お知らせ

- 市販のDVD (DVDビデオ) とご家庭で録画されたDVD (DVD-VR) では、画面や操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

走行中の画面について

本機は安全のため、停車時のみ映像をご覧いただけます。走行中は、「走行中は、安全のため実映像は表示できません」とメッセージが表示され、音声のみお楽しみいただけます。



操作画面

1 DVDを挿入する、または **HOME**

▶ **Audio Source**一覧 ▶ **CD/DVD**

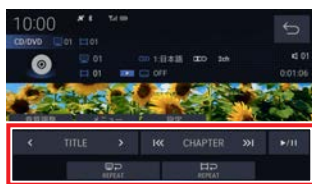
本機に挿入されたDVDが再生されます。

— お知らせ —

- 操作パネルが完全に閉じるまで再生ははじまりません。

2 画面をタッチ

操作キーが表示されます。



操作キー

音質調整：

音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

DVD再生時の操作

再生を停止する

1 再生中に画面をタッチ ▶

▶/II を長押し

DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。(レジューム停止)

停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

レジューム停止中に ▶/II を長押しすると、再生が完全に停止します。(完全停止) 次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II

再生が一時停止します。

再度 ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

- 再生中に画面をタッチ ▶ **⏮** (早戻し)、または **⏭** (早送り) を長押し

MEMO

- **⏮** または **⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のチャプターを再生する

- 再生中に画面をタッチ ▶ **⏮** または **⏭**

MEMO

- **⏮** をタッチするとチャプターの先頭に戻り、さらに **⏮** をタッチするごとに前のチャプターに移動します。

前／次のタイトルを再生する

- 再生中に画面をタッチ ▶ **◀** または **▶**

リピート再生する

- HOME** ▶ **Audio Source一覧**
▶ **CD/DVD**
- 画面をタッチ
- REPEAT**



🔄 REPEAT :
現在のタイトルを繰り返し再生する。

🔄 REPEAT :
現在のチャプターを繰り返し再生する。

MEMO

- 通常再生に戻す場合は、再度タッチして選択を解除してください。

オーディオメニュー画面 (DVDビデオ)

- HOME** ▶ **Audio Source一覧**
▶ **CD/DVD**
- 画面をタッチ ▶ **メニュー**
- 目的の項目を選択



トップメニュー／メニュー :
トップメニュー、または再生中のチャプターメニューを表示する。
内容はDVDによって異なります。

MEMO

- トップメニュー、または再生中のチャプターメニュー画面では、タイトルやチャプターなどを直接タッチできます。

十字キー

- 十字キーを表示する。
- **位置** をタッチすると十字キーの表示位置が変わります。
 - **▲、◀、▼、▶** でメニューを選択し、**実行** で確定します。

その他の機能

- **音声/字幕** :
音声や字幕の言語を **◀** と **▶** をタッチして選択します。
- **アングル** :
マルチアングル対応のDVDの場合、**◀** と **▶** をタッチしてアングルを選択します。
- **数字入力** :
タッチで数字を入力して **完了** をタッチします。DVDのコンテンツに応じた画面に移動します。
- **サーチ** :
タイトル・チャプター番号を **◀** と **▶** をタッチして選択して **OK** をタッチします。選択したタイトルやチャプターが再生されます。

オーディオメニュー画面 (DVD-VR)

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
▶ **CD/DVD**
- 2 画面をタッチ ▶ **メニュー**
- 3 目的の項目を選択

**タイトルリスト** :

タイトル一覧を表示する。
再生したいタイトルをタッチします。

その他の機能 :

- **音声/字幕** :
音声や字幕の言語を **<** と **>** をタッチして選択します。
- **主副切替** :
主音声と副音声を **<** と **>** をタッチして選択し、**OK** をタッチします。
- **再生順切替** :
DVD-VR収録順に再生するときは **Program** を、作成したプレイリスト順に再生するときは **Playlist** をタッチします。
- **サーチ** :
タイトル・チャプター番号を **<** と **>** をタッチして選択し、**OK** をタッチします。選択したタイトルやチャプターが再生されます。

DVDの設定をする

— お知らせ —

- 各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生がはじまりますが、設定内容によって再生がはじまる位置が異なります。

音声言語、字幕言語、メニュー言語を切り替える

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
▶ **CD/DVD**
- 2 **設定**
- 3 **音声言語**、**字幕言語**、**メニュー言語**
- 4 言語を選択

その他 :

言語コードを入力して言語を選択する。
→ P.89

— お知らせ —

- その他のDVD設定について詳しくは、「オーディオ設定」をご覧ください。→ P.122

■ 言語コード

コード	言語	コード	言語	コード	言語			
6565	AA	アフガル語	7289	HY	アルメニア語	8277	RM	レトロアンス語
6566	AB	アブバシア語	7365	IA	国際語	8278	RN	キルンディ語
6570	AF	アフリカーンス語	7368	ID	インドネシア語	8279	RO	ルーマニア語
6577	AM	アムハラ語	7369	IE	インターリング	8285	RU	ロシア語
6582	AR	アラビア語	7375	IK	イヌビア語	8287	RW	キヤールワング語
6583	AS	アッサム語	7383	IS	アイスランド語	8365	SA	サンスクリット語
6589	AY	アイマラ語	7384	IT	イタリア語	8368	SD	シンド語
6590	AZ	アゼルバイジャン語	7465	JA	日本語	8371	SG	サンゴ語
6665	BA	バクシール語	7486	JV	ジャワ語	8373	SI	シンハリ語
6669	BE	白ロシア語	7565	KA	グルジア語	8375	SK	スロバキア語
6671	BG	ブルガリア語	7575	KK	カザフ語	8376	SL	スロベニア語
6672	BH	ビハーリー語	7576	KL	グリーンランド語	8377	SM	サモア語
6673	BI	ビスラマ語	7577	KM	カンボジア語	8378	SN	シヨナ語
6678	BN	ベトナム語	7578	KN	カンナダ語	8379	SO	ソマリア語
6679	BO	チベット語	7579	KO	韓国語	8381	SQ	アルバニア語
6682	BR	ブルトン語	7583	KS	カシミール語	8382	SR	セルビア語
6765	CA	カタロニア語	7585	KU	クルド語	8383	SS	シスワティ語
6779	CO	コルシカ語	7589	KY	キルギス語	8384	ST	セストゥ語
6783	CS	チェコ語	7665	LA	ラテン語	8385	SU	スندا語
6789	CY	ウェルシュ語	7678	LN	リンガラ語	8386	SV	スウェーデン語
6865	DA	デンマーク語	7679	LO	ラオス語	8387	SW	スワヒリ語
6869	DE	ドイツ語	7684	LT	リトアニア語	8465	TA	タミル語
6890	DZ	ブータン語	7686	LV	ラトビア語	8469	TE	テルグ語
6976	EL	ギリシア語	7771	MG	マダガスカル語	8471	TG	タジク語
6978	EN	英語	7773	MI	マオリ語	8472	TH	タイ語
6979	EO	エスペラント語	7775	MK	マケドニア語	8473	TI	ティグリニャ語
6983	ES	スペイン語	7776	ML	マラヤーラム語	8475	TK	トゥルクメン語
6984	ET	エストニア語	7778	MN	モンゴル語	8476	TL	タガログ語
6985	EU	バスク語	7779	MO	モルダビア語	8478	TO	セツワナ語
7065	FA	ペルシャ語	7782	MR	マラータ語	8479	TN	トンガ語
7073	FI	フィンランド語	7783	MS	マレー語	8482	TR	トルコ語
7074	FJ	フィジー語	7784	MT	マルタ語	8483	TS	ツォンガ語
7079	FO	フェロー語	7789	MY	ビルマ語	8484	TT	タタール語
7082	FR	フランス語	7865	NA	ナウル語	8487	TW	トウィ語
7089	FY	フリジア語	7869	NE	ネパール語	8575	UK	ウクライナ語
7165	GA	アイルランド語	7876	NL	オランダ語	8582	UR	ウルドゥー語
7168	GD	スコットランドゲール語	7879	NO	ノルウェー語	8590	UZ	ウズベク語
7176	GL	ガルシア語	7967	OC	オキタン語	8673	VI	ベトナム語
7178	GN	グアラニー語	7977	OM	オロモ語	8679	VO	ヴォラピュック語
7185	GU	グジャラード語	7982	OR	オリヤー語	8779	WO	ウォロフ語
7265	HA	ハウサ語	8065	PA	パンジャブ語	8872	XH	コーサ語
7269	HE	ヘブライ語	8076	PL	ポーランド語	8973	YI	イディッシュ語
7273	HI	ヒンディー語	8083	PS	パシュトー語	8979	YO	ヨルバ語
7282	HR	クロアチア語	8084	PT	ポルトガル語	9072	ZH	中国語
7285	HU	ハンガリー語	8185	QU	ケチュア語	9085	ZU	ズールー語

テレビを見る

警告

- 本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧ください。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- 運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **TV**

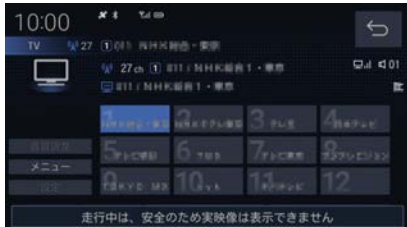
テレビ放送を受信します。
 選択中のチャンネル、プリセット番号、放送局名、番組名が表示されます。
 初回は、「初期設定」画面が表示されます。
 → P.90

MEMO

- 本機は地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替えができます。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えられます。→ P.93
- 地上デジタルテレビ放送は放送方式の特性上、アナログ放送に比べチャンネルの切り替え時間が長くなります。
- テレビ受信時に（主に弱電界で）画像が乱れる、一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。
- 何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。→ P.199

走行中の画面について

本機は安全のため、停車時のみ映像をご覧ください。走行中は、「走行中は、安全のため映像は表示できません」とメッセージが表示され、音声のみお楽しみいただけます。



はじめて見る場合

はじめてテレビを見るときは、「初期設定」と「初期スキャン」を行います。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **TV**

3 **実行する**



4 **都道府県名**をタッチして、リストから現在地を選択 ▶ **設定完了**



5 **実行する**



初期スキャンが開始され、受信可能な放送局がプリセットスイッチに登録されます。

MEMO

- 複数の地域の放送局が受信できた場合は、選択した都道府県の放送局が優先されます。

操作画面

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **TV**

3 **画面をタッチ**

操作キーが表示されます。

テレビモード



操作キー

AREA PRESET :

現在地周辺で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示する。→ P.92

音質調整 :

音質を調整する。
また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

メニュー :

オーディオメニューを表示する。
→ P.92

設定 :

オーディオ設定を行う。→ P.122

4 **プリセットされている放送局を選択**



プリセットスイッチ

MEMO

- プリセットスイッチを「ピッ」と鳴るまで長押しすると、受信中の放送局をそのスイッチに登録できます。
- プリセットスイッチには、12局まで登録できます。
- 「12セグ/ワンセグ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.93
- 「ワンセグ固定」、または「12セグ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

テレビの選局をする

自動で選局する

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **TV**

3 **画面をタッチ**

4 **◀ または ▶**

手動で選局する

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **TV**

3 **画面をタッチ**

4 **◀ または ▶**

スキャンして放送局を探す

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **TV**

3 **画面をタッチ**

4 **SCAN**


受信可能な放送局のスキャン受信がはじまります。

5 **見たい放送局のところで、中止** を **タッチ**

テレビ受信画面に戻り、タッチしたときに受信していた放送局が引き続き再生されます。

テレビを見る

— MEMO —

- スキャン中は、画面上部にスキャンインジケータ () が表示されます。

エリア選局する

移動に伴い地域が変わったとき、自動でその地域で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示できます。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **TV**

3 **AREA PRESET**

プリセットが、エリアプリセットに合わせた表示に切り替わります。

再度 **AREA PRESET** をタッチすると、エリアプリセットが解除されます。

— MEMO —

- エリアプリセット中は、**AREA PRESET** がハイライト表示されます。
- エリアプリセット中は、表示されているプリセットスイッチへの他の放送局の上書き登録はできません。

オーディオメニュー画面

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **TV**

3 **画面をタッチ** ▶ **メニュー**

4 **目的の項目を選択**



番組表：

電子番組表 (EPG) を表示する。

番組名をタッチすると、その番組の詳細情報を表示します。

また、**<** **>** で放送局を切り替えられます。

機能メニュー：

機能メニューを表示する。→ P.93


— MEMO —

- 番組表で放送局を変更すると連動してテレビの受信する放送局も切り替わります。
- 番組表での放送局の表示順は、プリセットスイッチの番号順です。

機能メニュー画面

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **TV**
- 3 **画面をタッチ** ▶ **メニュー**
▶ **機能メニュー**
- 4 **目的の項目を選択**


**サービス切替**：

メインチャンネルとサブチャンネルを切り替える。
マルチ編成の番組を見ているときは、テレビ画面の右上に  が表示されます。

12セグ/ワンセグ切替：

受信モードを「自動」、「ワンセグ固定」、「12セグ固定」の順に切り替える。
(初期値：自動)

音声切替：

音声を切り替える。
複数の音声がある番組を見ているときは、テレビ画面の右上に  が表示されます。

—  MEMO —

- 「自動」に設定中は、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していた放送局のワンセグ放送に自動的に切り替わります。12セグ放送の受信電波が強くなった場合は12セグ放送に切り替わります。
- 「自動」に設定中でも、以下の場合は自動的に切り替わりません。
 - ワンセグ放送の受信感度が悪い場合
 - 12セグ放送で視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合
 ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていない場合でも、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 「ワンセグ固定」に設定中は、受信状態に関係なく常にワンセグ放送を受信します。
- 「12セグ固定」に設定中は、受信状態に関係なく常に12セグ放送を受信します。

字幕：

字幕を切り替える。

ラジオを聴く

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **FM** または **AM**

ラジオ放送を受信します。
選択中のバンド、周波数、放送局名が表示されます。

MEMO

- 本機はFM補完放送「ワイドFM」(90.1MHzから94.9MHz)に対応しています。

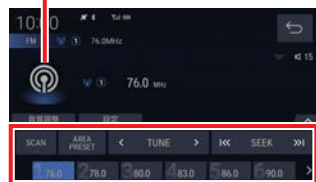
操作画面

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **FM** または **AM**

ラジオ放送を受信します。

バンド



操作キー

AREA PRESET :

現在地周辺で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示する。→ P.95

音質調整 :

音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定 :

オーディオ設定を行う。→ P.122

3 操作画面の上部をタッチ



リスト画面が表示されます。

4 **放送局リスト** ▶ **放送局を選択**



リスト更新 :

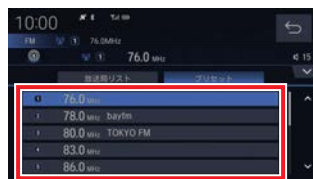
放送局リストの更新を開始する。

お知らせ

- リスト更新中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- リスト更新を停止した場合、更新できた分まで放送局リストの内容が書き換わります。

MEMO

- **プリセット** をタッチして、プリセットスイッチを「ピッ」と鳴るまで長押しすると、受信中の放送局をそのスイッチに登録できます。



プリセットスイッチ

- 操作画面下部のプリセットスイッチを長押ししても、受信中の放送局をプリセット登録できません。
- プリセットスイッチには、FM局を12、AM局を6まで登録できます。
- プリセット登録済みの場合、操作キー内のプリセットスイッチを選択しても選局できます。
- 地域によっては、実際とは異なる放送局名が表示される場合があります。

ラジオ受信時の操作

自動で選局する

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **FM** または **AM**
- 3 **⏪** または **⏩**

— **MEMO** —

- **⏪** または **⏩** を長押ししている間は、周波数が変化し続けます。

手動で選局する

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **FM** または **AM**
- 3 **<** または **>**

— **MEMO** —

- **<** または **>** を長押ししている間は、周波数が変化し続けます。

スキャンして放送局を探す

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **FM** または **AM**
- 3 **SCAN**
受信可能な放送局のスキャン受信がはじまります。
- 4 聴きたい放送局のところで、**中止** をタッチ
タッチしたときに再生していた放送局が引き続き再生されます。

— **MEMO** —

- スキャン中は、画面上部にスキャンインジケータ (**SCAN**) が表示されます。

エリア選局する

移動に伴い地域が変わったとき、自動でその地域で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示できます。

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **FM** または **AM**
- 3 **AREA PRESET**
プリセットが、エリアプリセットに合わせた表示に切り替わります。
再度 **AREA PRESET** をタッチすると、エリアプリセットが解除されます。

— **MEMO** —

- エリアプリセット中は、以下の状態となります。
 - **AREA PRESET** がハイライト表示され、画面上部に **エリア** が表示されます。
 - 受信できなかったプリセットスイッチには「[0.0MHz]」または「[0kHz]」と表示されます。
- エリアプリセット中は、表示されているプリセットスイッチへの他の放送局の上書き登録はできません。

交通情報を聴く

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧** ▶ **>**
- 2 **交通情報**
交通情報を受信します。
受信中の周波数
- 3 **受信する周波数を選択**



音質調整：

音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

iPodを聴く

本機では、iPodを接続してiPod内の音楽データをお楽しみいただけます。

⚠ 注意

- 走行中は、iPod本体の操作はしないでください。
- iPodは、安全な場所に置いてご使用ください。

📌 お願い

- iPodが反応しなくなった場合は強制的に再起動し、iPod単体で動作することを確認してから本機に再接続してください。iPodの再起動方法はAppleのWebサイトをご確認ください。

■ 準備 ■

- Apple Lightning-USBケーブルを使用して、iPodをUSB接続ジャックに接続してください。

1 HOME ▶ Audio Source一覧

2 iPod

iPod内の曲が自動的に再生されます。

📌 MEMO

- データ破損のおそれがあるため、ファイルのバックアップをおすすめします。
- 操作できる機能や表示されるメッセージは、iPodやiPhoneのモデルやソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- 何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。→ P.199
- iPodやiPhoneを接続しても認識されない場合は、接続し直してください。
- ミュージックファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。

📌 お願い

- 車のエンジンスイッチをOFFにした後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合がありますため、iPodの電源を消耗するおそれがあります。また、誤動作防止のためiPodは車両のエンジン始動後にUSB接続ジャックへ接続してください。

🔊 お知らせ

- 本機に対応するiPodについては、「対応モデル」をご覧ください。→ P.212
- iPodの動作についてはすべてを保証するものではありません。

📌 MEMO

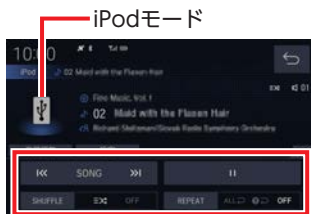
- iPodの動作が停止した場合、リストから曲を選択することで操作可能になるとことがあります。
- iPodのトラックリピート／シャッフル機能を設定している場合は、正しく動作しないことがあります。その場合は、リピート／シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- iPodの機種によっては再生対象の曲の数が多いため、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- Podcastなどを再生するとき、データのダウンロードが正常に完了していないと再生できないことがあります。

操作画面

1 HOME ▶ Audio Source一覧

2 iPod

iPod内の曲が再生されます。



操作キー

音質調整：

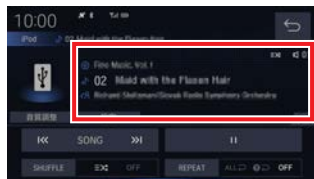
音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

3 操作画面の上部をタッチ



トラックリストが表示されます。

4 聴きたい曲を選択



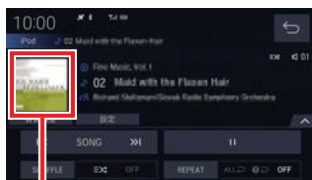
リストスイッチ

— MEMO —

- タブを選択すると、リストの表示内容を切り替えることができます。

— MEMO —

- アートワークのデータが含まれる曲を再生すると、カバーアートが表示されます。
- カバーアートは、表示／非表示を切り替えられます。→ P.122



カバーアート

iPod再生時の操作

一時停止する

1 再生中に **||**

再生が一時停止します。

一時停止中に **▶** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 再生中に **⏮** (早戻し)、または **⏭** (早送り) を長押し

— MEMO —

- **⏮** または **⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

1 再生中に **⏮** または **⏭**

— MEMO —

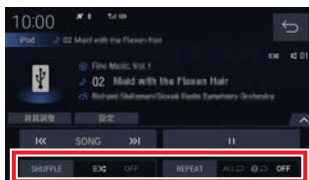
- **⏮** をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに **⏮** をタッチするごとに前の曲に移動します。

シャッフル・リピート再生をする

1 **HOME** ▶ **Audio Source**—一覧

2 **iPod**

3 **SHUFFLE** または **REPEAT**



SHUFFLE :

タッチするごとに、**⏮** と **OFF** に切り替わる。

⏮ は、現在再生中の階層内にあるすべての曲を順不同に再生します。**OFF** でSHUFFLEを解除します。

REPEAT :

タッチするごとにREPEATの種類が変わる。

- **ALL** : すべての曲を繰り返し再生します。
- **1** : 現在再生中の曲を繰り返し再生します。
- **OFF** : REPEATを解除します。

— MEMO —

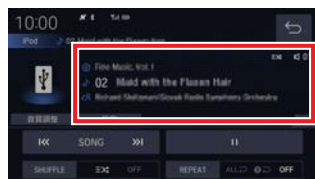
- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。

曲を探す

1 **HOME** ▶ **Audio Source**一覧

2 **iPod**

3 操作画面の上部をタッチ



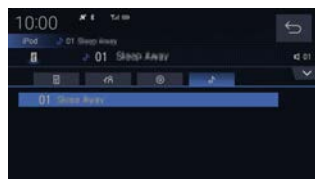
4 カテゴリを選択



— MEMO —

- 以下のカテゴリが選択できます。
 - ラジオ
 - プレイリスト
 - アーティスト
 - アルバム
 - 曲
 - Podcast
 - ジャンル
 - 作曲家
 - オーディオブック
- 選択できる項目は、iPodによって異なります。

5 聴きたい曲を選択



選択した曲を再生します。

— MEMO —

- **すべて** をタッチして表示されるリストの順番はiPodのモデルやソフトウェアによって異なります。
- タブは現在選択中の階層を示します。タブをタッチして、階層を移動できます。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

準備

- はじめてBluetoothオーディオを利用するときは、オーディオ機器を本機にペアリングしてください。→ P.131

① お願い

- ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **LXU-242NBI**

▶ **Bluetooth Audio**

LXM-242ZFNi

Bluetooth Audio

Bluetoothオーディオの曲が再生されます。選択中のトラック名、アーティスト名が表示されます。

お知らせ

- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオ機器（例 iPod/iPhoneなど）によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetoothオーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- 走行中はペアリングできません。
- Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオ機器側から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

- Apple CarPlay/Android Auto使用中は、本機能は使用できません。iPhone、Androidスマートフォンとの接続を解除してください。

MEMO

- Bluetoothオーディオ機器は、ハンズフリー機器とあわせて6台までペアリングできます。すでに6台ペアリングしている場合は、ペアリングの情報を1台分消去してから、新しく登録してください。
- iPhoneをBluetoothオーディオとして再生中、iPhone側でBluetooth画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断し、再度接続してください。
- 複数のBluetooth対応機器をペアリングしていると、音楽再生が遅れることがあります。
- Bluetoothオーディオ機器によっては、自動で再生が開始されないことがあります。その場合は、▶ をタッチするか、またはBluetoothオーディオ機器側で再生させてください。

操作画面

1 **HOME** ▶ **Audio Source**一覧

2 **LXU-242NBI**

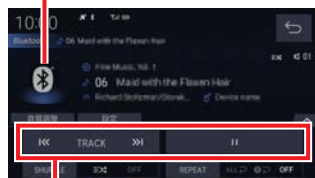
> ▶ **Bluetooth Audio**

LXM-242ZFNi

Bluetooth Audio

Bluetoothオーディオの曲が再生されます。

Bluetoothオーディオモード



操作キー

▶ :
曲を再生する。

⏸ :
再生を一時停止する。

⏮ TRACK ⏭ :
前/次の曲を再生する。

MEMO

- **⏮** をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに **⏮** をタッチするごとに前の曲に移動します。

音質調整 :

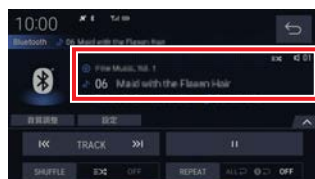
音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定 :

オーディオ設定を行う。→ P.122

3 操作画面の上部をタッチ



トラックリストが表示されます。

4 聴きたい曲を選択



MEMO

- Bluetooth対応機器に複数のミュージックアプリケーションがインストールされている場合、デバイス側でミュージックアプリケーションを切り替えることができます。
- 接続する機器によっては、本機の画面に表示されるリストから再生する曲の選択や検索ができます。
- Bluetoothオーディオ機器側のミュージックアプリケーションによっては、曲情報を表示できない場合があります。

Bluetoothオーディオ再生時の操作

一時停止する

1 再生中に **⏸**

再生が一時停止します。

一時停止中に **▶** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し/早送りする

1 再生中に **⏮** (早戻し)、または **⏭** (早送り) を長押し

MEMO

- **⏮** または **⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前/次の曲を再生する

1 再生中に **⏮** または **⏭**

MEMO

- **⏮** をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに **⏮** をタッチするごとに前の曲に移動します。

シャッフル・リピート再生をする

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**2 **LXU-242NBI**
> ▶ **Bluetooth Audio****LXM-242ZFNi**
Bluetooth Audio3 **SHUFFLE** または **REPEAT****SHUFFLE** :タッチするごとに、**≡☒** と **OFF** に切り替わる。**≡☒** は、Bluetoothオーディオ内のすべての曲を順不同に再生します。**OFF** でSHUFFLEを解除します。**REPEAT** :

タッチするごとにREPEATの種類が変わる。

- **ALL** : すべての曲を繰り返し再生します。
- **1** : 現在再生中の曲を繰り返し再生します。
- **OFF** : REPEATを解除します。

MEMO

- シャッフル・リピート再生される曲の順番や範囲は、Bluetoothオーディオ機器側のミュージックアプリケーションに依存します。

曲を探す

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**2 **LXU-242NBI**
> ▶ **Bluetooth Audio****LXM-242ZFNi**
Bluetooth Audio

3 操作画面の上部をタッチ

4 **Search** タブを選択し、カテゴリをタッチ

MEMO

- 以下のカテゴリが選択できます。
 - マイミュージック
 - プレイリスト
 - Radio
- 選択できる項目は、Bluetoothオーディオ機器の内容によります。
- Bluetoothオーディオ機器側のミュージックアプリケーションによっては、曲情報を表示できない場合があります。

5 検索条件をタッチし、聴きたい曲を選択



選択した曲を再生します。

MEMO

- 他のソースに切り替えると、音楽の再生を停止します。

LXU-242NBi

SDカードの音楽を聴く

本機では、お手持ちのSDカードに保存した音楽データをお楽しみいただけます。

SDカードを使用して再生できるファイルは、以下のとおりです。

- 本機で使用できるSDカード→ P.211
- 本機で再生可能な音声ファイルについて→ P.213

お知らせ

- データ破損のおそれがあるため、ファイルのバックアップをおすすめします。
- 何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。→ P.199

MEMO

- SDカード内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を追加して変更してください。

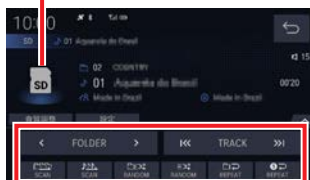
SDカードの音楽を再生する

- 1 SDカードを本機に挿入する→ P.81
- 2 **HOME** ▶ **Audio Source一覧** ▶ **>**
- 3 **SD**
SDカード内の曲が再生されます。

操作画面

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

- 2 **>** ▶ **SD**
SDカード内の曲が再生されます。
SDカードモード



操作キー

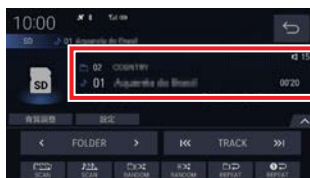
音質調整：

音質を調整する。
また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

- 3 操作画面の上部をタッチ



トラックリストが表示されます。

4 聴きたい曲を選択



リストスイッチ

— MEMO —

- タブを選択すると、リストの表示内容を切り替えられます。
- 左側の **SD** タブから、音楽再生とビデオ再生を切り替えられます。→ P.105

— MEMO —

- タイトル情報を取得できなかった場合は、フォルダ名とファイル名を表示します。アルバム名は「No Title」、アーティスト名は「No Name」と表示します。
- 以下のファイルが再生されると「再生できませんでした」と表示して、次のファイルへスキップします。
 - DRMで保護された音楽ファイル
 - サポートされていないフォーマットのファイル
- SDカード内が複数のパーティションに分けられている場合は、先頭のパーティションのみ再生できます。

オーディオファイル再生時の操作

早戻し／早送りする

- 1 再生中に **⏮** (早戻し)、または **⏭** (早送り) を長押し

— MEMO —

- **⏮** または **⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

- 1 再生中に **⏪** または **⏩**

— MEMO —

- **⏪** をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに **⏪** をタッチするごとに前の曲に移動します。

前／次のフォルダを再生する

- 1 再生中に **◀** または **▶**

前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。

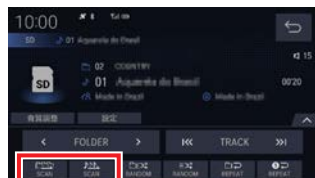
SDカード内をスキャンして曲を探す

曲の先頭を10秒ずつ再生して、聴きたい曲を探します。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 > ▶ **SD**

3 **SCAN**



SCAN :

SDカード内にある各フォルダの1つ目の曲を、冒頭10秒ずつ順に再生する。それぞれのフォルダにどのような曲が入っているかを判断する手がかりにします。

SCAN :

SDカード内にある曲の冒頭10秒ずつを順に再生する。
フォルダがある場合は、現在再生しているフォルダに入っている曲の冒頭10秒ずつを順に再生します。

スキャン再生がはじまります。

4 聴きたい曲が再生されたら、**中止**をタッチ

再生画面に戻り、タッチしたときに再生していた曲が引き続き再生されます。

ランダム・リピート再生をする

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 > ▶ **SD**

3 **RANDOM** または **REPEAT**



(ランダムの場合)

RANDOM :

再生中のフォルダの全曲を順不同に再生する。

RANDOM :

SDカード内にある全曲を順不同に再生する。

(リピートの場合)

REPEAT :

再生中のフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生する。

REPEAT :

再生中の曲のみを繰り返し再生する。

MEMO

- ランダム、リピート中に再度同じ項目をタッチすると、ランダム、リピートは解除されます。

LXU-242NBi

SDカードのビデオファイルを見る

本機では、お手持ちのSDカードに保存したビデオデータをお楽しみいただけます。

SDカードを使用して再生できるファイルは、以下のとおりです。

- 本機で使用できるSDカード→ [P.211](#)
- 本機で再生可能な動画ファイルについて→ [P.218](#)

警告

- 本機は安全のため、停車時のみビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- 運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

お知らせ

- データ破損のおそれがあるため、ファイルのバックアップをおすすめします。
- 何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。→ [P.199](#)
- 本機で再生できるフォーマットは、MP4、AVIです。→ [P.218](#)

MEMO

- SDカード内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を追加して変更してください。

SDカードのビデオを再生する

1 SDカードを本機に挿入する→ [P.81](#)

2 **HOME** ▶ **Audio Source**一覧 ▶ **>**

3 **SD**

SDカード内のビデオファイルが再生されます。ファイルにオーディオファイルが含まれている場合は、オーディオファイルが再生されます。再生するビデオファイルを選択してください。→ [P.106](#)

操作画面

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 > ▶ **SD**

— MEMO —

- オーディオファイルが再生された場合は、手順5のリスト画面からビデオファイルを選択してください。

3 **画面をタッチ**

操作キーが表示されます。



操作キー

音質調整：

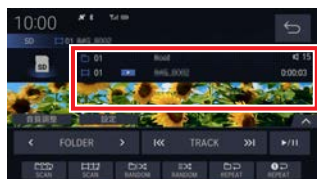
音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

4 **操作画面の上部をタッチ**



ビデオファイルのリストが表示されます。

5 **見たいビデオを選択**



リストスイッチ

— MEMO —

- タブを選択すると、リストの表示内容を切り替えられます。
- 左側の **SD** タブから、ビデオ再生と音楽再生を切り替えられます。→ P.102

ビデオファイル再生時の操作

再生を停止する

1 **再生中に画面をタッチ** ▶ **▶/||** を長押し

ビデオ映像が非表示となり、再生が停止します。(レジューム停止)

停止中に **▶/||** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

レジューム停止中に **▶/||** を長押しすると、再生が完全に停止します。(完全停止)
次に再生したときは、ビデオの先頭から再生されます。

一時停止する

1 **再生中に画面をタッチ** ▶ **▶/||**

再生が一時停止します。

再度 **▶/||** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 **再生中に** **◀◀** (早戻し)、または **▶▶** (早送り) を長押し

— MEMO —

- **◀◀** または **▶▶** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のビデオを再生する

1 再生中に **⏮** または **⏭**— **MEMO** —

- **⏮** をタッチするとビデオの先頭に戻り、さらに **⏮** をタッチするごとに前のビデオに移動します。

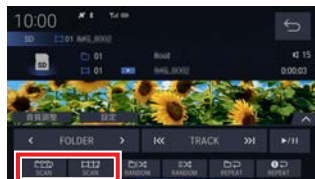
前／次のフォルダを再生する

1 再生中に **◀** または **▶**

前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のビデオが再生されます。

SDカード内をスキャンしてビデオを探す

ビデオの先頭を10秒ずつ再生して、見たいビデオを探します。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**2 **>** ▶ **SD**3 **SCAN****SCAN** :

SDカード内にある各フォルダの1つ目のビデオを、冒頭10秒ずつ順に再生する。それぞれのフォルダにどのようなビデオが入っているかを判断する手がかりになります。

SCAN :

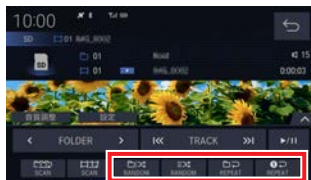
SDカード内にあるビデオの冒頭10秒ずつを順に再生する。フォルダがある場合は、現在再生しているフォルダに入っているビデオの冒頭10秒ずつを順に再生します。

スキャン再生がはじまります。

4 見たいビデオが再生されたら、**中止**をタッチ

ビデオ再生画面に戻り、タッチしたときに再生していたビデオが引き続き再生されます。

ランダム・リピート再生をする

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**2 **>** ▶ **SD**3 **RANDOM** または **REPEAT**

(ランダムの場合)

RANDOM :

再生中のフォルダ内のすべてのビデオを順不同に再生する。

RANDOM :

SDカード内にあるすべてのビデオを順不同に再生する。

(リピートの場合)

REPEAT :

再生中のフォルダ内のすべてのビデオファイルを繰り返し再生する。

REPEAT :

再生中のビデオファイルのみを繰り返し再生する。

— **MEMO** —

- ランダム、リピート中に再度同じ項目を選択すると、ランダム、リピートは解除されます。

USBメモリーの音楽を聴く

本機では、お手持ちのUSBメモリーに保存した音楽データをお楽しみいただけます。USBメモリーを使用して再生できるファイルは、以下のとおりです。

- 本機で使用できるUSBメモリー→ P.212
- 本機で再生可能な音声ファイルについて → P.213

— お知らせ —

- データ破損のおそれがあるため、ファイルのバックアップをおすすめします。
- 何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。→ P.199

— MEMO —

- USBメモリー内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を追加して変更してください。

USBメモリーの音楽を再生する

1 USB接続ジャックにUSBメモリーを接続する→ P.82

2 **HOME** ▶ **Audio Source**—一覧

3 **LXU-242NBi**

>▶ **USB**

LXM-242ZFNi

USB

USBメモリー内の曲が再生されます。

— MEMO —

- USBハブを使用してUSBメモリーを接続しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、接続しないでください。

操作画面

1 **HOME** ▶ **Audio Source**—一覧

2 **LXU-242NBi**

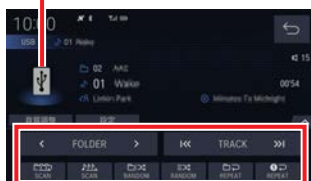
>▶ **USB**

LXM-242ZFNi

USB

USBメモリー内の曲が再生されます。

USBモード



操作キー

音質調整：

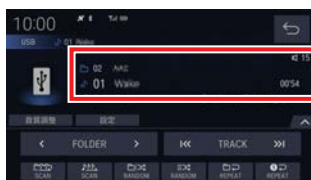
音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

3 操作画面の上部をタッチ



トラックリストが表示されます。

4 聴きたい曲を選択



リストスイッチ

— MEMO —

- タブを選択すると、リストの表示内容を切り替えられます。
- 左側の タブから、音楽再生とビデオ再生を切り替えられます。→ P.111

— MEMO —

- タイトル情報を取得できなかった場合は、フォルダ名とファイル名を表示します。アルバム名は「No Title」、アーティスト名は「No Name」と表示します。
- 以下のファイルが再生されると「再生できませんでした」と表示して、次のファイルへスキップします。
 - DRMで保護された音楽ファイル
 - サポートされていないフォーマットのファイル
- USBメモリー内が複数のパーティションに分けられている場合は、先頭のパーティションのみ再生できます。

オーディオファイル再生時の操作

早戻し／早送りする

- 1 再生中に (早戻し)、または (早送り) を長押し

— MEMO —

- または から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

- 1 再生中に または

— MEMO —

- をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに をタッチするごとに前の曲に移動します。

前／次のフォルダを再生する

- 1 再生中に または

前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。

USBメモリー内をスキャンして曲を探す

曲の先頭を10秒ずつ再生して、聴きたい曲を探します。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

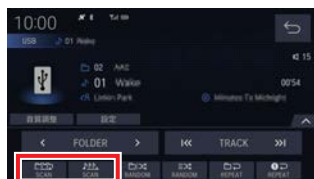
2 **LXU-242NBi**

> ▶ **USB**

LXM-242ZFNi

USB

3 **SCAN**



SCAN :

USBメモリー内にある各フォルダの1つ目の曲を、冒頭10秒ずつ順に再生する。それぞれのフォルダにどのような曲が入っているかを判断する手がかりにします。

SCAN :

USBメモリー内にある曲の冒頭10秒ずつを順に再生する。
フォルダがある場合は、現在再生しているフォルダに入っている曲の冒頭10秒ずつを順に再生します。

スキャン再生がはじまります。

4 聴きたい曲が再生されたら、**中止**をタッチ

再生画面に戻り、タッチしたときに再生していた曲が引き続き再生されます。

ランダム・リピート再生をする

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

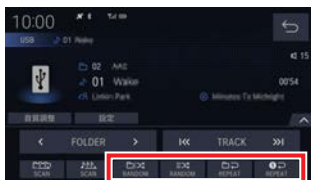
2 **LXU-242NBi**

> ▶ **USB**

LXM-242ZFNi

USB

3 **RANDOM** または **REPEAT**



(ランダムの場合)

RANDOM :

再生中のフォルダの全曲を順不同に再生する。

RANDOM :

USBメモリー内にある全曲を順不同に再生する。

(リピートの場合)

REPEAT :

再生中のフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生する。

REPEAT :

再生中の曲のみを繰り返し再生する。

MEMO

- ランダム、リピート中に再度同じ項目をタッチすると、ランダム、リピートは解除されます。

USBメモリーのビデオファイルを見る

本機では、お手持ちのUSBメモリーに保存したビデオデータをお楽しみいただけます。USBメモリーを使用して再生できるファイルは、以下のとおりです。

- 本機で使用できるUSBメモリー→ P.212
- 本機で再生可能な動画ファイルについて → P.218

⚠ 警告

- 本機は安全のため、停車時のみビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- 運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

🔊 お知らせ

- データ破損のおそれがあるため、ファイルのバックアップをおすすめします。
- 何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。→ P.199
- 本機で再生できるフォーマットは、MP4、AVIです。→ P.218

📄 MEMO

- USBメモリー内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を追加して変更してください。

USBメモリーのビデオを再生する

1 USB接続ジャックにUSBメモリーを接続する→ P.82

2 **HOME** ▶ **Audio Source**一覧

3 **LXU-242NBi**

> ▶ **USB**

LXM-242ZFNi

USB

ビデオファイルが再生されます。ファイルにオーディオファイルが含まれている場合は、オーディオファイルが再生されます。再生するビデオファイルを選択してください。→ P.112

📄 MEMO

- USBハブを使用してUSBメモリーを接続しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、接続しないでください。

操作画面

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

2 **LXU-242NBI**

> ▶ **USB**

LXM-242ZFNI

USB

— **MEMO** —

• オーディオファイルが再生された場合は、手順5のリスト画面からビデオファイルを選択してください。

3 **画面をタッチ**

操作キーが表示されます。



操作キー

音質調整：

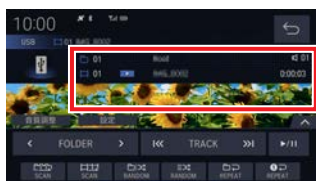
音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

4 **操作画面の上部をタッチ**



ビデオファイルのリストが表示されます。

5 **見たいビデオを選択**



リストスイッチ

— **MEMO** —

- タブを選択すると、リストの表示内容を切り替えられます。
- 左側の [] タブから、ビデオ再生と音楽再生を切り替えられます。→ P.108

ビデオファイル再生時の操作

再生を停止する

1 **再生中に画面をタッチ** ▶ **▶/||** を長押し

ビデオ映像が非表示となり、再生が停止します。(レジューム停止)

停止中に **▶/||** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

レジューム停止中に **▶/||** を長押しすると、再生が完全に停止します。(完全停止) 次に再生したときは、ビデオの先頭から再生されます。

一時停止する

1 **再生中に画面をタッチ** ▶ **▶/||**

再生が一時停止します。

再度 **▶/||** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 **再生中に** **◀◀** (早戻し)、または **▶▶** (早送り) を長押し

— **MEMO** —

- **◀◀** または **▶▶** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のビデオを再生する

1 再生中に **⏮** または **⏭**

— **MEMO** —

- **⏮** をタッチするとビデオの先頭に戻り、さらに **⏮** をタッチするごとに前のビデオに移動します。

前／次のフォルダを再生する

1 再生中に **◀** または **▶**

前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のビデオが再生されます。

USBメモリー内をスキャンしてビデオを探す

ビデオの先頭を10秒ずつ再生して、見たいビデオを探します。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

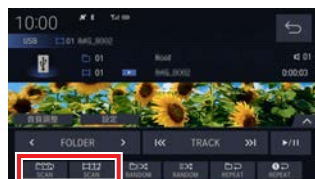
2 **LXU-242NBi**

>▶ USB

LXM-242ZFNi

USB

3 **SCAN**



SCAN :

USBメモリー内にある各フォルダの1つ目のビデオを、冒頭10秒ずつ順に再生する。それぞれのフォルダにどのようなビデオが入っているかを判断する手がかりにします。

SCAN :

USBメモリー内にあるビデオの冒頭10秒ずつを順に再生する。フォルダがある場合は、現在再生しているフォルダに入っているビデオの冒頭10秒ずつを順に再生します。

スキャン再生がはじまります。

4 見たいビデオが再生されたら、**中止**をタッチ

ビデオ再生画面に戻り、タッチしたときに再生していたビデオが引き続き再生されます。

ランダム・リピート再生をする

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**

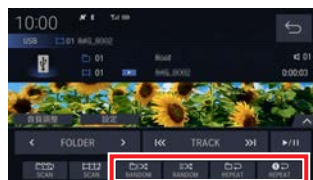
2 **LXU-242NBi**

>▶ USB

LXM-242ZFNi

USB

3 **RANDOM** または **REPEAT**



(ランダムの場合)

RANDOM :

再生中のフォルダ内のすべてのビデオを順不同に再生する。

RANDOM :

USBメモリー内にあるすべてのビデオを順不同に再生する。

(リピートの場合)

REPEAT :

再生中のフォルダ内のすべてのビデオファイルを繰り返し再生する。

REPEAT :

再生中のビデオファイルのみを繰り返し再生する。

— **MEMO** —

- ランダム、リピート中に再度同じ項目を選択すると、ランダム、リピートは解除されます。

LXU-242NBi

Music Rackを使う

Music Rackに録音する

Music Rackは、CDの曲をSDカードに録音し、再生する機能です。

録音する前にお読みください

- Music Rackを使用するにはSDカードが必要です。
→ P.211 「本機で使用できるSDカード」
- 録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
万一、本機の故障や誤作動および不具合により録音に支障が生じた場合でも、録音内容および消失した録音データについては補償いたしかねますので、ご容赦願います。
- 録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。

お知らせ

- ・ ノンストップCD（曲と曲がつながっているCD）を録音に使用された場合、曲間に無音部分をはさんで録音します。
- ・ 本機で録音した楽曲は、本機以外のモデルでは再生できません。また、本機以外のモデルで録音した楽曲は、本機では再生できません。

録音についてのご注意

■ 録音時の状態について

以下のような場合には、音声途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

- 録音中にCDの音が飛んだ
- 傷があるなどCDの状態が悪い
- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

■ 録音中の操作について

録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は **はい** を、続行する場合は **いいえ** をタッチしてください。

- **REC** をタッチする
- リピート／ランダム再生
- トラックのアップ／ダウン
- 早送り／早戻し
- 音楽ディスクのスキャン再生

お知らせ

- ・ 録音中はタイトルリストの選択はできません。
- ・ 録音中に操作パネルを開くと、録音が中止されます。
- ・ 録音済みの曲にはチェックマークが付きます。
- ・ テレビを視聴中、またはSDカード／USBメモリーでハイレゾ音源を再生中は、録音に時間がかかることがあります。

録音中に車のエンジンスイッチをOFFにすると、処理が中断されます。

次回車のエンジンスイッチをACCまたはONにすると、前回録音していた曲の先頭から録音が始まります。

録音の設定をする

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **Music Rack**
- 3 **設定**
- 4 **CD挿入時に自動録音**

自動録音モードにする／しないを設定します。（初期値：する）

録音時にアルバム情報をオンラインで自動取得：本機内蔵のデータベースからアルバム情報が得られない場合、録音開始時にオンライン経由で自動的に情報を取得するかどうかを設定する。

手動で情報を取得することもできます。（初期値：する）

→ P.119 「アルバム情報を更新する」

CDDBのバージョン情報を表示する：音楽CDの演奏者や制作年度などの情報が格納されたデータベースのバージョンを表示する。

自動で録音する

準備

- 「CD挿入時に自動録音」を「する」に設定してください。→ P.114

1 SDカードを本機に挿入する

2 CDを挿入する

自動的に録音が始まります。

—  お知らせ —

- ・録音済みのCDの場合は、録音は行いません。

手動で録音する

準備

- 「CD挿入時に自動録音」を「しない」に設定してください。→ P.114

1 SDカードを本機に挿入する

2 CDを再生し、REC

3 希望の録音方法を選択

全曲録音：

再生中のCDのすべての曲を録音する。
アルバムの先頭から録音されていない曲の録音が始まります。

現在の曲を録音：

再生中の曲を録音する。
曲の先頭に戻り、録音が始まります。

曲を指定して録音：

録音したい曲をリストから複数選択して録音する。

リストから曲を選択して **録音 ▶ はい** をタッチすると、アルバムの先頭に近い曲から順に録音が始まります。

—  MEMO —

- ・録音モード選択画面にディスクの情報やSDカードの情報が表示されます。SDカードの空き容量が1MB未満の場合、空き容量に「1MB未満です」と表示されます。

Music Rackについて

録音可能最大曲数

- SDカード容量32GBの場合
総曲数：4,000曲
総アルバム数：500枚
1アルバム内の曲数：99曲
※SDカードの容量により曲数は異なります。
(SDカード容量4GBの場合：約1,000曲)
※録音可能最大曲数は、SDカードの容量にかかわらず上記のとおりです。

録音可能音源

音楽CDのみ

音声圧縮形式・録音音質

圧縮形式：AAC
サンプリングレート：44.1kHz
ビットレート：128kbps

本機は、SCMS (Serial Copy Management System) の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」ことを〈1世代まで〉と規制しています。

したがって、以下の操作を本機で行えません。

- 本機に録音したCDの曲を、デジタル出力を使用してデジタルコピーすること
- デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDをMusic Rackに録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition ServiceSMのデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンル・アルバムの情報が取得され、画面上に表示されます。

—  お知らせ —

- ・CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。
- ・情報を取得できなかったCDの場合は、録音した日付が表示されます。

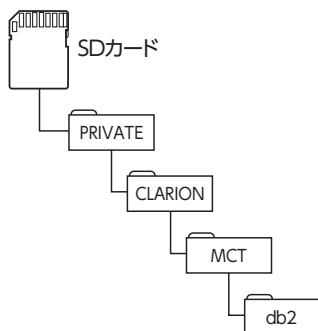
—  MEMO —

- ・Gracenote Music Recognition ServiceSMのデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。
→ P.119 「アルバム情報を更新する」

録音した音楽データについて

■ 録音した音楽データのバックアップ

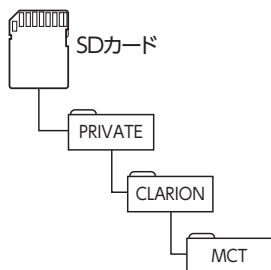
録音した音楽データはSDカード内の以下のフォルダに保存されます。



お使いのパソコンに、このフォルダをそのまま保存することでバックアップできます。

■ バックアップした音楽データの復元

バックアップした音楽データフォルダ「db2」をSDカード内の下記フォルダに書き戻すことで復元できます。



すでに上記フォルダ内に「db2」フォルダが存在する場合は、バックアップを取ってください。

① お願い

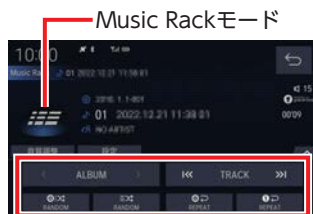
- 「db2」フォルダ内に存在するファイルおよびフォルダの消去や変更は絶対に行わないでください。Music Rackが正常に動作しなくなる可能性があります。
- SCMSでは、デジタル信号のコピーを〈1世代まで〉と規制しています。→ P.115
これらの操作は、録音データ保存以外の目的では行わないでください。

操作画面

1 HOME ▶ Audio Source一覧

2 Music Rack

Music Rack内の曲が再生されます。



操作キー

音質調整：

音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

3 操作画面の上部をタッチ



トラックリストが表示されます。

4 聴きたい曲を選択



リストスイッチ

MEMO

- タブを選択すると、リストの表示内容を切り替えることができます。

— お知らせ —

- 本機の電源を切った状態でSDカードを入れ替えた場合、先頭トラックから再生されないことがあります。
- 再生時間は、録音元のCDとは異なります。

Music Rack再生時の操作

早戻し／早送りする

- 1 再生中に **⏮** (早戻し)、または **⏭** (早送り) を長押し

— MEMO —

- **⏮** または **⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

- 1 再生中に **⏪** または **⏩**

— MEMO —

- **⏪** をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに **⏪** をタッチするごとに前の曲に移動します。

ランダム・リピート再生をする

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **Music Rack**
- 3 **RANDOM** または **REPEAT**



(ランダムの場合)

⊞ **RANDOM** :

再生中のアルバムの全曲を順不同に再生する。

≡ **RANDOM** :

Music Rack内の全曲を順不同に再生する。

(リピートの場合)

⌂ **REPEAT** :

再生中のアルバム内の全曲を繰り返し再生する。

1 **REPEAT** :

再生中の曲のみを繰り返し再生する。

— MEMO —

- ランダム、リピート中に再度同じ項目をタッチすると、ランダム、リピートは解除されます。

曲を探す

1 **HOME** ▶ **Audio Source**一覧

2 **Music Rack**

3 操作画面の上部をタッチ



4 **SD** タブをタッチし、カテゴリを選択



— MEMO —

- 以下のカテゴリが選択できます。
 - アーティスト
 - アルバム
 - 曲
 - ジャンル

5 検索条件をタッチし、聴きたい曲を選択



選択した曲を再生します。

— MEMO —

- タブは現在選択中の階層を示します。タブをタッチして、階層を移動できます。

アルバム・トラック情報を編集する

— お知らせ —

- アルバム・トラック情報の編集中や操作直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できない場合があります。

アルバム情報を編集する

1 **HOME** ▶ **Audio Source**一覧

2 **Music Rack**

3 **設定** ▶ **アルバム情報を編集する**

4 アルバムを選択

5 編集したい項目を選択

6 文字を入力 ▶

— MEMO —

- アルバム名は全角または半角で入力できます。
- 文字入力について詳しくは、「文字入力画面について」をご覧ください。→ P.209

演奏中の曲情報を編集する

1 **HOME** ▶ **Audio Source**一覧

2 **Music Rack**

3 **設定** ▶
現在演奏中の曲情報を編集する

4 編集したい項目を選択

曲名、アーティスト名、ジャンルの情報をそれぞれ編集できます。

5 文字を入力 ▶

— MEMO —

- 各項目は全角・半角で入力できます。
- 文字入力について詳しくは、「文字入力画面について」をご覧ください。→ P.209

曲を消去する

— お知らせ —

- 一度消去した曲は元に戻せません。

再生中の曲を消去する

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **Music Rack**
- 3 **設定** ▶ **曲を消去する**
- 4 **現在の曲を消去する**
- 5 **はい**

アルバムを選んで消去する

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **Music Rack**
- 3 **設定** ▶ **曲を消去する**
- 4 **アルバムから選んで消去する**
- 5 **消去するアルバムをすべて選択**
▶ **消去**
すべて選択/解除：
すべての項目を選択/解除する。
- 6 **はい**

曲を選んで消去する

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **Music Rack**
- 3 **設定** ▶ **曲を消去する**
- 4 **アルバムから選んで消去する**
- 5 **消去する曲を含むアルバムの **詳細****
トラックリストが表示されます。
- 6 **消去する曲をすべて選択** ▶ **消去**
すべて選択/解除：
すべての項目を選択/解除する。
- 7 **はい**

すべての曲を消去する

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **Music Rack**
- 3 **設定** ▶ **曲を消去する**
- 4 **全曲消去する**
- 5 **はい**

アルバム情報を更新する

新譜など、本機に内蔵のデータベースにアルバム情報が含まれていない場合は、曲名などが正しく表示されないことがあります。

Gracenoteのデータベースに該当の情報が格納されている場合は、オンライン経由で最新のアルバム情報を取得できます。

オンライン経由で情報を更新する

— お知らせ —

- Honda Total Care の会員登録および本機のセットアップが必要です。→ P.143

- 1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧**
- 2 **Music Rack**
- 3 **設定** ▶
センターに接続して未取得タイトルを取得
- 4 **情報を取得したいアルバムを選択**
▶ **タイトル取得開始**
取得したアルバム情報が本機に取り込まれます。

HDMI対応機器を使用する

HDMI対応機器を本機に接続して、映像と音声を出力します。(入力解像度：1080Pまで)
操作はHDMI対応機器から行います。本機から操作することはできません。

⚠ 警告

- 本機は安全のため、停車時のみ映像をご覧ください。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- 運転者が映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

❗ お願い

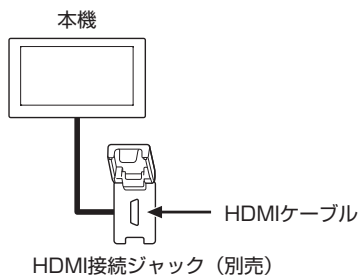
- HDMI対応機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

— ◀ お知らせ —

- 接続する機器やケーブル類、それらの組み合わせにより、正常に作動しない場合があります。
- 接続機器がHDMI入力に対応する映像信号でも正常に再生できない場合があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。

HDMI機器を再生する

1 HDMI接続ジャックにHDMI対応機器のケーブルを接続する



2 HOME ▶ Audio Source一覧 ▶ >

3 HDMI HDMI対応機器映像が再生されます。



音質調整：

音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

設定：

オーディオ設定を行う。→ P.122

— ◆ MEMO —

- 接続したHDMI対応機器の操作方法について詳しくは、各機器付属の取扱説明書をご覧ください。

画面や画質を調整する

動画再生時の画面を調整する

- 1 動画再生中に音量ノブを長押し
- 2 **画面** または **色調整** を選択



初期値にする：

画面調整の設定値をすべて工場出荷時の状態に戻す。

昼夜切替：

昼画面と夜画面を切り替える。

画面消し：

画面を非表示にする。

- 3 調整したい項目の **+**、**-** または **赤**、**緑** を選択
- 4 **設定完了**

音声再生時の画面を調整する

- 1 音声再生中に音量ノブを長押し
- 2 各項目の **+**、**-** を選択



初期値にする：

画面調整の設定値をすべて工場出荷時の状態に戻す。

昼夜切替：

昼画面と夜画面を切り替える。

画面消し：

画面を非表示にする。

- 3 **設定完了**

オーディオ設定

1 **HOME** ▶ **設定/情報**

2 **オーディオ設定**

3 **目的の項目を選択**

(共通 タブ)



音質調整：

音質を調整する。

また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。→ P.126

カバーアート：

操作画面に表示する再生中の曲の、アートワークの表示(する)／非表示(しない)を切り替える。(初期値：する)

リア席モニターサウンド自動切替^{*}：

リア席モニター接続時に音響パラメータを読み込み済みの場合、専用のチューニングが設定されたリア席モニター用の音質に自動で切り替えるかどうかを設定する。(初期値：ON)

※ **LXU-242NBi** のみの機能です。

(地デジ タブ)



画面調整：

映像画面や色を調整する。

・「画面」：

「明るさ」、「コントラスト」を調整します。各項目の **+**、**-** をタッチし、設定値を変更します。

・「色調整」：

「色調整」、「色合い」を調整します。各項目の **+**、**-** または **赤**、**緑** をタッチし、設定値を変更します。

地域設定：

プリセットチャンネルに優先的に表示する地域を設定する。→ P.91

デバイスID情報表示：

デバイスID情報を表示する。

— お知らせ

- **地デジ** タブは、テレビ視聴時のみ選択できます。

LXU-242NBi

(DVD タブ)

**自動再生：**

自動でDVDビデオのトップメニュー、または再生中のチャプターメニューが表示された場合に、自動再生する／しないを選択する。(初期値：する)

音声言語：

再生時に優先する音声言語を選択する。(初期値：日本語)

字幕言語：

再生時に優先する字幕言語を選択する。(初期値：日本語)

メニュー言語：

再生時に優先するメニュー言語を選択する。(初期値：日本語)

アングルマーク表示：

マルチアングルに対応したDVDで、アングルが切り替え可能な場合に、アングルマークの表示(する)／非表示(しない)を選択する。(初期値：する)

音声圧縮：

音声ダイナミックレンジの圧縮のする／しないを選択する。(初期値：する)

パスワード：

視聴制限(パレンタルレベル)設定時のパスワードを設定する(設定済み)／しない(未設定)を選択する。

(初期値：未設定)

パスワードを設定する場合、4桁の数字で設定します。パスワードの変更や消去もここで設定します。

視聴制限：

視聴制限とそのレベルを「1～8、OFF」で設定する。(初期値：OFF)

DVDビデオには、「視聴制限」(パレンタルレベル)が設定されているものがあります。レベルは1～8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できない場合があります。

また、パレンタルレベルは国によって異なります。本機のカントリーコードは日本に固定されています。

画面調整：

映像画面や色を調整する。

・「画面」：

「明るさ」、「コントラスト」を調整します。各項目の **+**、**-** をタッチし、設定値を変更します。

・「色調整」：

「色調整」、「色合い」を調整します。各項目の **+**、**-** または **赤**、**緑** をタッチし、設定値を変更します。


ワイド切替：

画面の表示比率を、ノーマル、フル、ズームから選択する。

表示比率を選択し、**設定完了** をタッチします。

・  (ノーマル)：

画像のアスペクト比を保持したまま、画面縦または画面横いっぱいに拡大表示します。上下または左右端に黒い帯が付きます。

・  (フル)：

画像が画面全体に表示されます。

・  (ズーム)：

画像が上下左右方向に引き延ばされて表示されます。

お知らせ

- **DVD** タブは、DVD再生時のみ選択できます。
- **音声言語**、**字幕言語**、**メニュー言語** は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で表示されるわけではありません。

MEMO

- **音声言語**、**字幕言語**、**メニュー言語** で「その他」を選択した場合は、言語コードを入力してください。→ P.89

(USB SD※ HDMI タブ)



画面調整：





映像画面や色を調整する。

- **「画面」**：
「明るさ」、「コントラスト」を調整します。各項目の **+**、**-** をタッチし、設定値を変更します。
- **「色調整」**：
「色調整」、「色合い」を調整します。各項目の **+**、**-** または **赤**、**緑** をタッチし、設定値を変更します。

ワイド切替：

画面の表示比率を選択する。

表示比率を選択し、**設定完了** をタッチします。

-  (オリジナル)：
原画像を拡大縮小することなく画面中央に表示します。(USB/SD※のみ)
-  (ノーマル)：
画像のアスペクト比を保持したまま、画面縦または画面横いっぱいに拡大表示します。上下または左右端に黒い帯が付きます。
-  (フル)：
画像が画面全体に表示されます。
-  (ズーム)：
画像が上下左右方向に引き延ばされて表示されます。

お知らせ

- **USB** タブは、USBメモリービデオ再生時のみ選択できます。
- **SD** タブは、SDカードビデオ再生時のみ選択できます。*
- **HDMI** タブは、HDMI再生時のみ選択できます。

※ **LXU-242NBI** のみの機能です。

LXU-242Nbi

(Music Rack CD-DA タブ)

**CD挿入時に自動録音：**

自動録音モードにする／しないを設定する。(初期値：する)

曲を消去する：

録音済みの曲を消去する。
(Music Rackのみ)

録音時にアルバム情報をオンラインで自動取得：

本機内蔵のデータベースからアルバム情報が得られない場合、録音開始時にオンライン経由で自動的に情報を取得するかどうかを設定する。(初期値：する)

CDDBのバージョン情報を表示する：

音楽CDの演奏者や制作年度などの情報が格納されたデータベースのバージョンを表示する。

アルバムリストの表示順序：

アルバムリストの表示順序を設定する。
(初期値：録音日) (Music Rackのみ)

アルバム情報を編集する：

録音済みのアルバム情報を編集する。
(Music Rackのみ)

現在演奏中の曲情報を編集する：

再生中のトラック情報を編集する。
(Music Rackのみ)

センターに接続して未取得タイトルを取得：

手動でセンターに接続し、オンライン経由で情報を取得する。(Music Rackのみ)

MEMO

- **初期値にする** をタッチすると、以下の項目のオーディオ設定を初期値に戻します。
 - **共通** タブの設定
 - 現在再生中のソースの設定
- 各ソースのオーディオメニューからも、同様の設定ができます。
- **画面調整**、**ワイド切替** は安全上の配慮から、停車しているときだけ設定できます。
- 昼画面と夜画面それぞれで別の **画面調整** の設定ができます。

4 設定完了

音質を調整する

FADER、BALANCE、イコライザー、オートラウドネス、高域補完を調整します。また、車速連動音量の設定も行います。

準備

- オーディオをONにしてください。→ P.79

- 1 いずれかのソース再生中に **音質調整**
- 2 各項目のレベルを調節



([FAD-BAL タブ])

前後左右のスピーカーの音量バランスをFADER、BALANCEで調整します。

([SVC タブ])

(Speed Volume Compensation / 車速連動音量)

車の速度が上がると自動的に音量が上がるように設定します。(初期値：MID)

OFF :

機能を解除します。

LO :

車速に応じた音量変化を小さくします。

MID :

「LO」と「HI」の間です。

HI :

車速に応じた音量変化を大きくします。

([GEQ タブ])

(Graphic EQ)

イコライザーを設定します。

プリセット ([Bass.B] [High.B] [Acoustic] [Impact] [Smooth] [Flat]) から選択するか、ユーザーカスタマイズで調整します。

([LOUD タブ])

音量に応じて低域と高域の音を補正・強調します。(初期値：OFF)

— MEMO —

- 「音響パラメータ」をONにすると、「Auto Loudness」の初期値は「3」になります。

([高域補完 タブ])

圧縮オーディオに高音域を補完します。

(初期値：LO)

LXU-242NBi

([音響パラメータ タブ])

読み込んだ車種別専用パラメータファイルを反映するかどうかを設定します。

(初期値：ON)

車種別専用パラメータを設定している場合のみ選択できます。

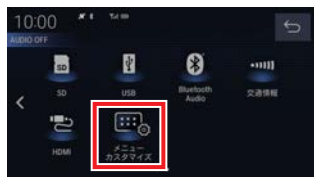
3 設定完了

オーディオソース一覧画面をカスタマイズする

オーディオソース一覧画面の項目を、お好みの内容に並べ替えます。

1 **HOME** ▶ **Audio Source一覧** ▶ >

2 **メニューカスタマイズ**



3 **OK**

4 オーディオソース一覧画面の1画面目に表示するタッチキーの数を **-** **+** で選択 ▶ **決定**



ボタンのレイアウトは、画面上で確認できます。

— MEMO —

- 1画面目に表示できるタッチキーは3～8個です。

5 割り当てを変更したいボタンを選択

初期化：

オーディオソース一覧画面のレイアウトおよびタッチキーの配置を、工場出荷時の状態に戻す。

6 画面右側のリストから、新しく割り当てるソースを選択



— MEMO —

- 同じソースを複数のボタンに割り当てることはできません。
- リストに表示されている以外の新しいソースを追加することはできません。
- 複数のタッチキーの割り当てを変更する場合は、手順5～6を繰り返してください。

7 **決定** ▶ **はい** ▶ **OK**

Memo

ハンズフリーテレホン

本機に携帯電話などのBluetooth対応機器を接続すると、ハンズフリーで電話をかけられます。

携帯電話を使う	130
Bluetoothで接続する	131
Bluetoothの設定をする	133
電話を受ける	134
電話をかける	135
ワンタッチダイヤルからかける	135
リダイヤルする	135
履歴からかける	135
電話帳からかける	136
電話番号を入力してかける	136
電話を設定する	137
ワンタッチダイヤル	137
電話帳／発信着信履歴を読み込む	138

携帯電話を使う

Bluetooth接続できる携帯電話については、下記Webサイトをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/navi/support/>

① お願い

- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

電話トップ画面

1 HOME ▶ 電話

MEMO

- 携帯電話を1台も登録していない場合、「電話機が登録されていません。電話機を登録しますか?」とメッセージが表示されます。**登録する**をタッチしてペアリングしてください。→ P.131

2 目的の項目を選択

携帯電話の状態アイコン



メニュー :

電話メニュー画面を表示する。→ P.130

ワンタッチダイヤル :

登録したワンタッチダイヤルのリストを表示する。→ P.135

発信着信履歴 :

過去の発信着信履歴のリストを表示する。→ P.135

MEMO

- ハンズフリー電話どうしの通話、騒音の大きい環境下での通話など、使用条件によっては通話しづらい場合があります。また、話しかたによっては相手先に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。
- 通話時は、大きめの声ではっきりとお話してください。
- 通話中は窓を閉めてください。
- Bluetooth接続が完了すると、画面の右上に携帯電話の状態を表す以下のアイコンが表示されます。

📶 : Bluetooth接続中

🔋 : 携帯電話の電池残量

📶 : 電話回線の接続状況

Bluetooth対応機器の受信感度、電池残量の表示は、接続する機器によっては、数値が一致しない場合があります。

電話メニュー画面

1 HOME ▶ 電話 ▶ メニュー

2 目的の項目を選択



ワンタッチダイヤル :

ワンタッチダイヤルから電話をかける。→ P.135

リダイヤル :

最後に発信した相手に電話をかける。→ P.135

発信着信履歴 :

過去の発信着信履歴から電話をかける。→ P.135

電話帳 :

携帯電話から読み込んだ電話帳から電話をかける。→ P.136

番号入力発信 :

電話番号を直接入力して電話をかける。→ P.136

Bluetoothで接続する

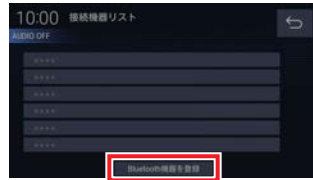
お知らせ

- Android AutoアプリケーションをインストールしたAndroidスマートフォンの場合、本機とUSBで接続するだけでペアリングが完了します。機器登録は不要です。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。
- 携帯電話端末のソフトウェアのバージョンにより、正常に作動しない場合があります。
- この確認結果は、検証に使用した携帯電話や、スマートフォンに搭載されている既存のアプリケーションに関しての結果です。
- Bluetooth対応オーディオや携帯電話を本機に接続している状態で、他の通信機器でデータ通信を使用すると通信中に正常に作動しない場合があります。
- 外部通信機器などの電波の影響で繋がりにくくなったり、音飛びする場合があります。
- Bluetooth対応オーディオ機器の種類、携帯電話または、携帯電話に搭載されている既存の音楽再生アプリケーション以外ではカタログスペック通りに動作しない場合があります。
- インターネット電話には対応していません。
- 国際ダイヤルアシストが設定されている場合、電話番号の最初に「+81」が表示されることがあります。携帯電話側の設定をご確認ください。
- 通話中や、着信、通話切替時にノイズやエコーが生じる場合があります。
- 携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応オーディオ機器の操作につきましては、各機器の取扱説明書をご確認ください。
- Apple CarPlay無効状態でiPhoneと本機をBluetoothおよびUSBで接続すると、接続機器リスト上に同じ名称の機器が2つ登録される場合があります。
接続機器リストからApple CarPlayを一旦有効にすると、接続機器リスト上の重複していた機器が1つに統合されます。→ P.133

携帯電話をペアリングする

- HOME ▶ 設定/情報
- Bluetooth設定

3 Bluetooth機器を登録



4 接続するBluetooth対応機器のBluetooth設定をONにする

詳しくは、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

5 確認



6 登録する携帯電話を選択

Bluetooth機器から検索 :

携帯電話から本機を検索する。
お使いの携帯電話の画面にしたがって操作してください。

MEMO

- ペアリング可能な携帯電話が表示されないときは **再検索** をタッチし、再度検索を行ってください。

7 画面とBluetooth対応機器に表示されたパスキーが同一であることを確認し、携帯電話からペアリングを開始する

パスキーが正しく認証されると、登録およびBluetooth接続が完了します。

MEMO

- 電話帳/履歴同期** が「する」に設定されていると、携帯電話の電話帳や発信着信履歴を自動で読み込みます。→ P.138
- Wireless Apple CarPlay対応機器の場合、手順7の後に使用確認画面が表示されます。Wi-Fi接続する場合は、**Wirelessで使用** をタッチしてください。Apple CarPlay画面が表示されます。

— MEMO —

- Bluetoothでハンズフリー機能を使用するためには、対応の携帯電話が必要です。
- ペアリング完了後、Bluetooth対応機器上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- Bluetooth接続で使用する携帯電話は、6台まで登録できます。
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- Bluetooth対応機器が「接続待機中」設定時や待ち受け状態のときは、自動的に接続されます。上記以外の場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth対応機器と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。ただし、自動的に再接続を試みるのは、電話トップ画面で表示されているBluetooth対応機器のみになります。また、Bluetoothオーディオ再生中に再接続は行いません。
- Bluetooth対応機器を再起動した場合、機器の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合はBluetooth機器リストから接続したいBluetooth対応機器を選択してください。→ P.132
- 登録した電話は消去できます。→ P.133
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、他のBluetooth対応機器の接続（通話、通信）やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- ペアリングのポイント
 - 携帯電話の収納場所、距離によっては、通信速度が低下する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
 - 走行中はペアリングの操作はできません。
 - 接続中は、携帯電話の電池の消耗が早まる場合があります。
 - 携帯電話がサーチ状態になっていない場合、または本機に認識されずに数分が経過した場合は、本機は接続待機の状態に戻ります。

別の電話機を選択する

本機に複数のBluetooth対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

- 1 **HOME** ▶ **設定/情報**
- 2 **Bluetooth設定**
- 3 **切り替えたい携帯電話のアイコンを選択**



Bluetooth機器を登録：
別の携帯電話を登録する。

- 4 **電話** または **音楽** **電話** をタッチ



— MEMO —

- 電話 **電話** を選択すると、オーディオ機器と携帯電話の両方として接続できます。

選択した携帯電話の接続が完了します。接続が完了するまでに時間がかかることがあります。

— MEMO —

- 接続されたBluetooth対応機器に応じて、リストの右側に以下のアイコンが表示されます。
 - **音楽** (オーディオ機器)
 - **電話** (携帯電話)
- 接続中の携帯電話を選択し、**接続解除** をタッチすると、接続が切断されます。
- オーディオ機器と携帯電話の両方として接続されているBluetooth機器を、オーディオ機器または携帯電話としてのみ接続し直したい場合は、一旦 **接続解除** をタッチしてから **音楽** または **電話** をタッチしてください。
- Bluetooth対応機器は、6台までペアリング可能ですが、接続できるのは1台のみです。
- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、ワンタッチダイヤル・発信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

■ Apple CarPlay/Android Auto使用中の接続機器リストについて

Apple CarPlay/Android Auto使用中は、以下のような接続機器リスト画面が表示されます。



Apple CarPlay/Android Autoを接続している機器の欄にApple CarPlay/Android Autoのアイコンが表示されます。

- / ▲ (橙色) : 連携中
- / ▲ (白色) : 未連携

アイコンをタッチすることで、Apple CarPlay/Android Autoの連携開始/中断(未連携)を切り替えられます。

また、リストの機器名称をタッチすると、Apple CarPlay/Android Autoの有効/無効を設定できます。



— MEMO —

- Bluetooth接続でハンズフリー機能を使用する場合は、Apple CarPlay/Android Autoを無効にしてください。

登録した電話を消去する

1 **HOME** ▶ **設定/情報**

2 **Bluetooth設定**

3 **消去したい携帯電話の** ×



4 **消去する**

— MEMO —

- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、ワンタッチダイヤル、電話帳情報も消去されます。
- Bluetooth対応機器の登録情報を消去中に本機の電源を切ると、消去できない場合があります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

Bluetoothの設定をする

1 **HOME** ▶ **設定/情報**

2 **Bluetooth設定**

Bluetooth機器リストが表示されます。

- P.132 「別の電話機を選択する」、
- P.133 「登録した電話を消去する」

— MEMO —

- HOME画面で **接続機器リスト** をタッチしても、接続機器リスト画面を表示できます。

電話を受ける

⚠ 注意

- 走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。

1 電話がかかってきたら **通話**



着信拒否：
電話に回答しない。

着信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

2 通話を終了する場合は **終了**



携帯電話に切替：
ハンズフリー通話から携帯電話での通話に切り替える。

ハンズフリーに切替：
携帯電話での通話からハンズフリー通話に切り替える。

マイクミュート：
こちらからの音声を消し、相手に聞こえない状態にする。

番号入力：
自動音声案内などで1桁ずつ番号を送信する。

MEMO

- 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信中画面を表示します。ただしBluetooth接続でデータ通信中は、電話は受けられません。
- 他の機能を使用中に着信があった場合、自動的に着信画面が割り込み表示されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、通話中に着信があると、「第2着信がかかっています」というメッセージが画面に表示されます。通話を切り替えるには、**通話切替**をタッチします。もう一度**通話切替**をタッチすると、元の通話に切り替わります。Bluetooth対応の携帯電話の場合は、割込通話が使用できないことがあります。
- 音量ノブを回して受話音量を調整できます。
- 電話帳に登録されている電話からの着信には、登録されている名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によって、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、通話中に別の着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- 携帯電話が待ち受け状態でないと、発信着信ができない場合があります。

電話をかける

直接電話番号を入力する以外に、ワンタッチダイヤル、リダイヤル、履歴、電話帳を使って電話をかけることができます。

ワンタッチダイヤルからかける

- 1 **HOME** ▶ **電話**
▶ **ワンタッチダイヤル**
- 2 電話をかける相手を選択



- **MEMO** —
- ワンタッチダイヤルは走行中も発信できます。
 - 電話メニューからも操作できます。
HOME ▶ **電話** ▶ **メニュー** ▶ **ワンタッチダイヤル** の順にタッチします。

リダイヤルする

最後に発信した相手に電話をかけます。




- 1 **HOME** ▶ **電話**
- 2 **メニュー** ▶ **リダイヤル**

- **MEMO** —
- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

履歴からかける

- 1 **HOME** ▶ **電話** ▶ **発信着信履歴**
- 2 電話をかける相手を選択



- **MEMO** —
- 電話メニューからも操作できます。
HOME ▶ **電話** ▶ **メニュー** ▶ **発信着信履歴** の順にタッチしてください。
 - 電話番号の左側に以下のアイコンが表示されます。
 -  (発信)
 -  (着信)
 -  (不在着信)
 - 発信着信履歴は走行中も発信できます。
 - 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。
 - 発信着信履歴は、携帯電話の接続が完了すると、自動的に読み込まれます。→ [P.138](#)
 - 発着着信および不在着信の履歴は、本機に記録された最新の20件ずつが表示されます。
 - 電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称が表示されます。

電話帳からかける

- 1 **HOME** ▶ **電話** ▶ **メニュー**
▶ **電話帳**

- 2 電話をかける相手を選択



検索：

電話帳に登録されている名前を入力して検索する。

- 3 電話番号を選択

— **MEMO** —

- 電話帳は、携帯電話の接続が完了すると、自動的に読み込まれます。→ P.138
- 電話番号ごとに、以下の種類のアイコンが3つまで表示されます。

- (電話)
- (FAX)
- (家)
- (車)
- (携帯電話)
- (その他)
- (会社)
- (声)
- (ポケットベル)

- 電話帳は、50音順（読みがな）でリスト表示されます。携帯電話での表示順とは異なる場合がありますので、発信の際は電話番号をご確認ください。

電話番号を入力してかける

注意

- 走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

- 1 **HOME** ▶ **電話** ▶ **メニュー**
▶ **番号入力発信**

- 2 電話番号を入力



- 3 **発信**

- 入力した電話番号で発信され、電話がかかります。
- 発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。

— **MEMO** —

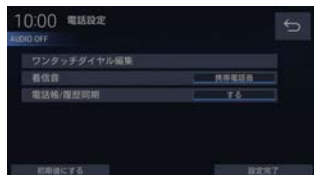
- 携帯電話の機種によっては、ダイヤル発信中に電話を切った場合、すぐに再発信できないことがあります。しばらく経ってから、再度ダイヤル発信を行ってください。

電話を設定する

1 HOME ▶ 設定/情報

▶ 電話設定

2 各項目を設定



ワンタッチダイヤル編集：

ワンタッチダイヤルを登録、編集、消去する。→ P.137

着信音：

電話着信音を設定する。
(初期値：携帯電話音)

・「固定音」：

本機からの着信音を使用する。

・「携帯電話音」：

携帯電話で設定している着信音を使用する。

電話帳/履歴同期：

電話接続時、携帯電話の電話帳・発信着信履歴を同期する／しないを設定する。
(初期値：する) → P.138

初期値にする：

電話の設定を初期値に戻す。

3 設定完了

MEMO

- ・着信音で「携帯電話音」を選択した場合でも、携帯電話の機種によって対応していない場合があります。その場合は本機からの着信音を使用します。

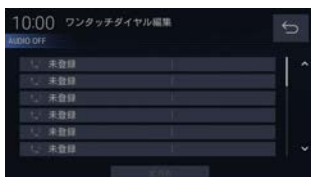
ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルを登録する

1 HOME ▶ 設定/情報

2 電話設定 ▶ ワンタッチダイヤル編集

3 未登録



4 登録する方法を選択



新規入力：

登録したい名称と電話番号を直接入力し、**設定完了**をタッチする。

発信着信履歴：

発信着信履歴から登録したい電話番号を選択する。

電話帳：

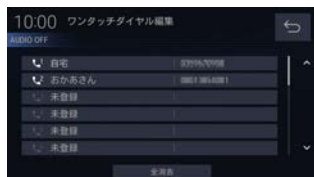
電話帳から登録したい電話番号を選択する。

MEMO

- ・ワンタッチダイヤルの最大登録件数は携帯電話1台につき20件です。
- ・登録済みのワンタッチダイヤルを選択すると、選択したワンタッチダイヤルの編集、消去ができません。→ P.138

ワンタッチダイヤルを編集する

- 1 **HOME** ▶ **設定／情報**
- 2 **電話設定** ▶ **ワンタッチダイヤル編集**
- 3 編集したいワンタッチダイヤルを選択



全消去：
すべてのワンタッチダイヤルを消去する。

4 **詳細情報**

消去：
選択したワンタッチダイヤルを消去する。

5 **各項目を編集**

名称または電話番号をタッチし、編集してください。

6 **設定完了**

電話帳／発信着信履歴を読み込む

本機にペアリングしている携帯電話の電話帳や発信着信履歴を読み込むことができます。

- 1 **HOME** ▶ **設定／情報**
- 2 **電話設定** ▶ **電話帳／履歴同期**
- 3 **する**

— **MEMO** —

- 一度同期した後で設定を「しない」に変更すると、同期された電話帳や発信着信履歴はすべて消去されます。
- 携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 一度読み込みを完了した電話帳や発信着信履歴は、携帯電話を接続するたびに更新されます。
- ペアリングした携帯電話ごとに電話帳、発信着信履歴のデータを保持します。
- 名前が入力されていないデータや、シークレット設定などの携帯電話側の設定により、電話帳が読み込まれない場合があります。
- 電話帳は最大2000件、発信着信履歴は発信、着信、不在着信履歴ごとに最大20件まで取得できます。

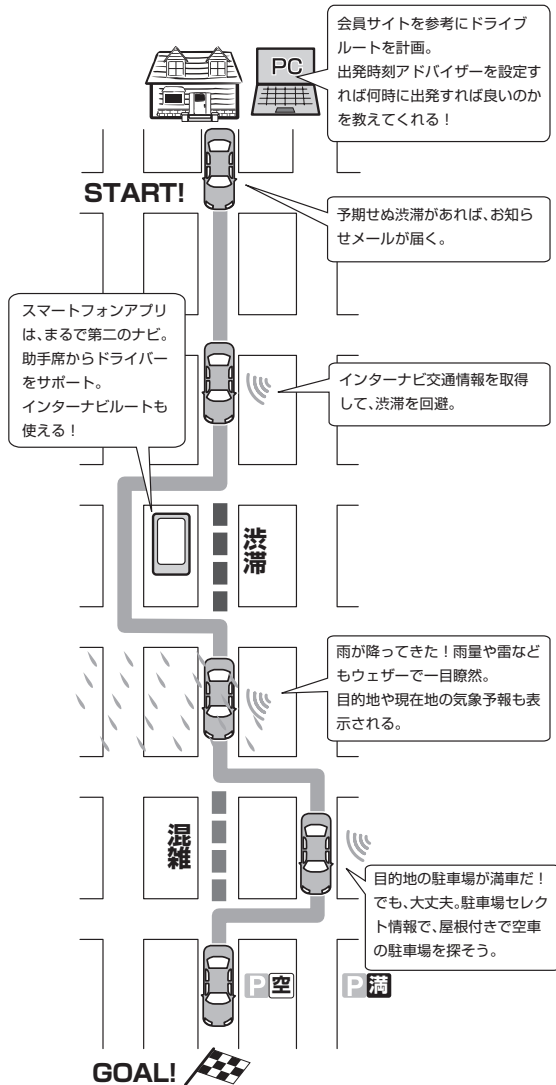
Honda Total Care

情報センターと通信することで、さまざまなサービスを利用できます。
Honda Total Careをご利用になるには、会員登録が必要です。

Honda Total Careとは	140	ウェザーを取得する	150
主なサービス	141	ウェザーを音声で案内する	150
インターナビルート	142	車内Wi-Fiを使用する	151
はじめに	143	パソコン、スマートフォンで	
Honda Total Careを利用するまでの流れ	143	Honda Total Careを利用する	151
ナビゲーションでHonda Total Careの		Honda Total Careについて	152
サービスを利用する	144	交通情報によるルート計算	152
メッセージセンターを確認する	145	インターナビ・フローティングカーシステム	152
交通情報を取得する	146	Honda Total Careサービス更新	153
防災情報を取得する	147	自動地図データ更新サービスについて	153
駐車場セレクトでお好みの駐車場を探す	147	会員サービスの解約時について	153
Myスポットを表示する	148	Honda Total Careプレミアムサービスに	
Myコースのルートを設定する	148	ついて	154
立ち寄り履歴100から目的地を探す	149		

Honda Total Careとは

安心で快適なカーライフを実現するためのHonda車オーナー専用のサービスです。



主なサービス

インターナビ交通情報→ P.146

インターナビ交通情報を取得することにより、渋滞を避けたルートを自動で計算しルート設定できます。

インターナビルート

→ P.142 「インターナビルート」

インターナビ情報センターの高性能サーバーで計算した高精度なルートを本機に配信します。これにより、多彩なニーズに応じたルート検索ができます。

インターナビ・フローティングカーシステム

Honda車から集められたフローティングカーデータにより、幹線道路以外の細い道でも渋滞情報を高精度に把握できます。

ウェザー→ P.150

現在地や目的地周辺の気象情報を取得します。また、現在地周辺の気象予報を地図上に表示します。

駐車場セレクト→ P.147

料金や営業時間など、あらかじめお好みの条件を設定しておけば、条件にあった駐車場を探すことができます。

メッセージセンター→ P.145

車両の品質情報や地図更新など、Hondaからの重要なお知らせが自動的に受信されて表示されます。

Honda Total Care会員サイト→ P.151

パソコン向けにご提供する会員専用のホームページです。パソコンからルート計算をしたり、車のメンテナンス状況を管理することができます。

Honda Total Careのホームページからログインすることで利用できます。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

● ドライブプランニング

ドライブスポットを登録して、後から呼び出すことができます。ドライブルートを計画しましょう。

● 出発時刻アドバイザー

ルートと希望の到着時刻を設定すれば、最適な出発時刻が案内されます。

● Myスポット→ P.148

会員サイトで登録したMyスポットを本機で表示します。

スマートフォンアプリ→ P.151



Honda Total Care
給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認できます。



internavi POCKET（一部有料）
出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

インターナビルート

①【スマートルート】時間と料金のバランスが良いルート

スマートルートでは、「最速」をベースに「時間」「料金」「ETC割引」などをバランス良く考慮した「最も賢いルート」をご案内します。お財布に優しく、渋滞にもつかまりにくいので、目的地までストレスなく移動できます。

②【最速ルート】最も早く目的地に到着できるルート

ルート対象となるすべての道路のインターナビ交通情報を用いて、高性能なインターナビサーバーでルート計算します。無料の一般道と高速道路を優先的に利用して、最速で目的地に到着できるルートをご案内します。

※「最速ルート」では交通状況により、高速道路の乗り降りを繰り返す場合があります。

③【最速無料優先ルート】無料道路で最も早く目的地に到着できるルート

一般道路と無料の高速道路を利用して、最も短時間で目的地に到着できるルートをご案内します。

④【ETC割引ルート】ETC割引を最大限に活用できるルート

通勤割引や早期割引など、複雑なETC割引をサーバーが計算します。高速料金を節約できるお得なルートをご案内します。

※2度乗りで安くなる場合、ICの降り口の音声案内のみとなります。

※2度乗りする際は、実際の交通規制にしたがってください。

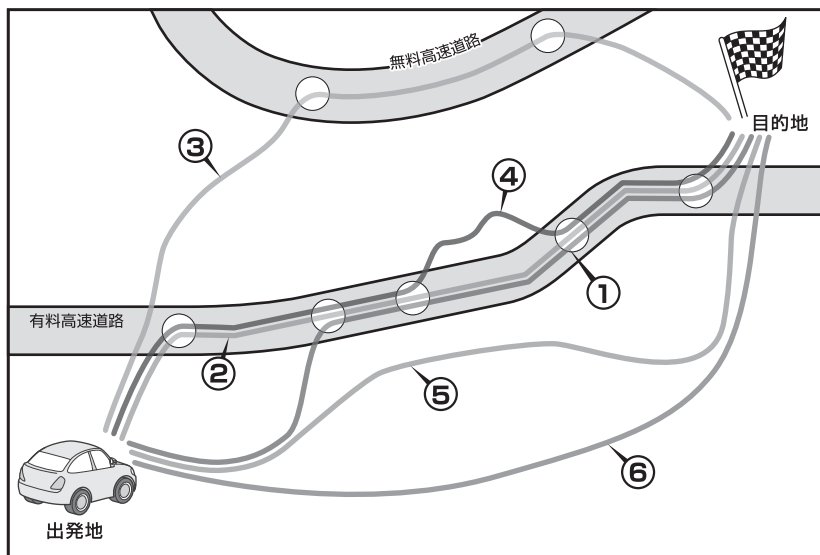
⑤【省燃費ルート】燃料消費が最も少なく、CO₂排出量も削減するルート

Honda Total Care会員の走行情報から、燃料消費量を計算し※、距離や時間ではなく、燃料消費量の最も少ないルートをご案内します。CO₂排出量を抑えた、環境に優しいルートです。

※過去走行データの平均で算出しています。過去走行データがない場合は、推定車速で算出しています。

⑥【らくらく運転ルート】運転難易度のなるべく低い道を案内するルート

運転初心者の方や運転が苦手な方向けに、道幅が広い道を優先し、右左折や都市内高速道路などをなるべく避けて目的地に到着できるルートをご案内します。



MEMO

・Honda Total Careの提供サービス変更に伴い、ルートの種類は変更される場合があります。

はじめに

Honda Total Careのサービスをご利用になるには、Honda販売店でのHonda Total Careの会員登録（無料）が必要です。詳しくは、Honda Total Careのホームページをご覧ください。ご購入上げのHonda販売店にご相談ください。

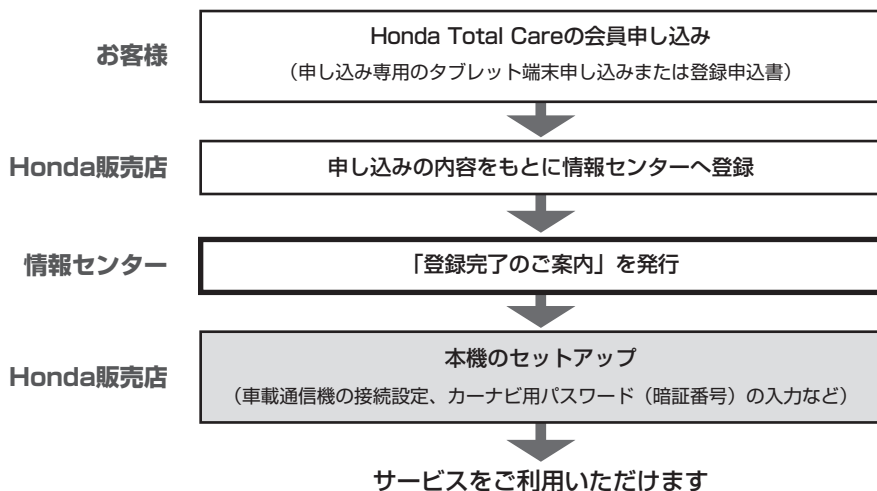
会員登録完了後、会員ID、パスワードなどを記載した「登録完了のご案内」をお渡しいたします。また、Honda Total Careのホームページを通じて、ナビゲーションシステムと連動した情報サービスや地図更新のご案内などをご提供しております。→ P.153

ぜひご覧ください。

Honda Total Careホームページ

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

Honda Total Careを利用するまでの流れ



◆ MEMO

- Honda Total Careの会員IDやパスワードは、「登録完了のご案内」に記載されています。
- 本機が搭載された中古車を入手された方も、最寄りのHonda販売店（Honda Cars、ホンダカーズ・ユーセレクト（U-Select））で会員登録手続きを承ります。Honda Total Careの基本会員の入会金・会費などは不要です。
- Honda Total Careのサービスを受けるには、お客様の個人情報の登録が必要になります。そのため、本機を譲渡または転売される場合は個人情報を消去する必要があります。個人情報の消去は、Honda販売店へご依頼ください。

ナビゲーションで Honda Total Careの サービスを利用する

情報センターに接続すると、交通情報や気象情報などを取得できます。

MEMO

- Honda Total Careのコンテンツは随時更新されますので、コンテンツメニューなどは本書に記載のものとは変わることがあります。

1 HOME ▶ Honda Total Care



メッセージセンター：

新しい地図データの更新や、製品に関する情報などを表示します。→ P.145

ウェザー：

現在地、または目的地の気象情報を表示します。→ P.150

交通情報：

現在地、または目的地までの交通情報を音声案内および地図画面上に表示します。→ P.146

駐車場セレクト：

車のサイズや料金など、希望条件に合った駐車場を地図画面上に表示します。

→ P.147

Myコース：

Honda Total Careに登録した「Myコース」を表示します。→ P.148

Myスポット：

Honda Total Careに登録した「Myスポット」を表示します。→ P.148

立ち寄り履歴 100：

立ち寄り履歴を表示します。エンジンを停止した場所を立ち寄り履歴として登録できます。→ P.149

Honda Total Careプレミアム：

Honda Total Careプレミアムの各機能の申し込み／解約をすることができます。→ P.154

メッセージセンターを確認する

メッセージセンターとは、HondaがHonda Total Care会員へ配信する、地図データの更新情報や、ご利用製品に関する情報、お車の走行距離やお住まいの地域や季節に合わせたカーライフに役立つ情報などです。Hondaからの配信を受信すると、情報受信後あるいは次回起動時に以下のような画面が表示されます。

■ 未読メッセージを確認する

1 画面上部のメッセージアイコンをタッチ



2 メッセージのタイトルを選択



3 確認したいメッセージを選択

選択したメッセージの本文が表示されます。



■ 地点表示：

地図画面に切り替える。
目的地などに設定できます。

■ 削除：

メッセージを削除する。

■ ◀、▶：

メッセージを切り替える。

■ 読み上げ開始：

メッセージを読み上げる。

— MEMO —

- **地点表示** は、位置情報がある場合に表示されます。

■ 既読メッセージを確認する

1 HOME ▶ Honda Total Care

▶ メッセージセンター



2 メッセージのタイトルを選択



■ 未読のみ表示：

未読メッセージのみを表示する。

■ 未読読み上げ：

未読メッセージを音声で読み上げる。

3 確認したいメッセージを選択

選択したメッセージの本文が表示されます。



■ 地点表示：

地図画面に切り替える。
目的地などに設定できます。

■ 削除：

メッセージを削除する。

■ ◀、▶：

メッセージを切り替える。

■ 読み上げ開始：

メッセージを読み上げる。

— MEMO —

- **地点表示** は、位置情報がある場合に表示されます。

交通情報を取得する

手動で交通情報を取得します。

交通情報を取得する地点は、画面表示状態やルート設定の有無で異なります。

- 現在地地図画面が表示され、ルートを設定している場合：ルート沿いの規制・渋滞情報と目的地付近の駐車場情報
- 現在地地図画面が表示され、インターナビルートにて案内中の場合：ルート沿いの規制・渋滞情報と目的地付近の駐車場情報・最新ルートの再取得
- 現在地地図画面が表示され、ルートを設定していない場合：現在地周辺の規制・渋滞・駐車場情報
- 地図をスクロールしている場合：スクロール先周辺の規制・渋滞・駐車場情報

MEMO

- Honda Total Careに接続しているときは、ルート案内を開始すると自動的に情報センターとの接続が行われ、交通情報を取得します。

1 HOME ▶ Honda Total Care

▶ 交通情報

通行実績情報マップでは、震度6以上の地震や、集中豪雨などの災害発生時、対象地域の付近をHonda Total Care登録車が実際に通行した道路の情報から得た「今、クルマで通ることができる道路」の情報を、地図上で見ることができます。

地図画面に表示した地域に通行実績情報があれば、地図上に緑色の破線で表示されます。

⚠ 注意

- 個人で被災地へ向かう場合は、安全の確認に加え、系統的な救援・支援活動を妨げる可能性があることをご注意いただき、実際の走行にあたっては、必ず現地での規制、誘導にしたがってください。

MEMO

- スマートフォンアプリ「インターナビ ポケット」でも、通行実績情報は表示されます。

交通情報画面

交通情報とは、全国のVICS情報とフローティングカーデータを情報センターで統合し、さらに渋滞予測を加えたHonda独自の交通情報です。フローティングカーデータとは、日本中のHonda Total Care会員から収集されている走行データのことです。この情報を通信で受け取ることにより、目的地により早く到着するルート案内などに活かします。

フローティングカー情報の情報センターへの提供は、**フローティングカー情報提供**が「する」に設定されている場合に行われます。→ P.187

■ 交通情報の見かた

交通情報を取得すると、地図上に交通情報が色つきの実線と破線で表示されます。このうち実線で表示されているのがVICS情報、破線で表示されているのがフローティングカーデータとなります。

VICS情報 (実線)	フローティングカーデータ (点線)
赤色 = 渋滞	赤色 = 渋滞
橙色 = 混雑	青色 = 渋滞なし



MEMO

- 表示するには、**VICS表示設定**の「渋滞線表示」、「混雑線表示」、「順調線表示」を設定する必要があります。→ P.160

防災情報を取得する

防災情報は目的地やルート上の警報・注意報や走行中の現在地やルート周辺の警報・注意報を監視し、検知したら地図上に表示します。防災情報の配信は、会員サイトから配信停止することができます。

地震情報

現在地やルート周辺に震度5弱以上の地震が発生した場合に、警告画面を表示するとともに、地図上にタイル表示します。

津波情報

津波注意報・警報が発令された場合も、警告画面を表示するとともに、地図上にマークで表示します。

駐車場セレクトでお好みの駐車場を探す

手で駐車場情報を取得します。あらかじめお好みの駐車場の条件を設定しておくことで、条件に合った駐車場を探せます。

→ P.222

なお、条件を設定しなくても、車両設定の情報に基づき、駐車できる駐車場のみが絞り込んで表示されます。

駐車場セレクト情報を取得する地点は、画面表示状態やルートの設定の有無で異なります。

- 現在地地図が表示され、ルートを設定している場合：目的地周辺の駐車場
- 現在地地図が表示され、ルートを設定していない場合：現在地周辺の駐車場
- 地図をスクロールしている場合：スクロール先周辺の駐車場

1 HOME ▶ Honda Total Care

▶ 駐車場セレクト



2 駐車場を選択



3 目的地にする

目的地までのルートが設定されます。

→ P.58

— MEMO —

- 車載通信機を取り外すなど通信できない状況では使用できません。
- 表示する駐車場の条件は、**ナビ詳細設定 ▶ 地図 ▶ 「駐車場セレクト」**から設定できます。→ P.222
- 地図表示位置周辺2km以内にある駐車場を探せます。(最大20件)

Myスポットを表示する

Honda Total Careの会員サイトで作成したMyスポットを本機で表示します。

- 1 **HOME** ▶ Honda Total Care
▶ Myスポット



- 2 スポット名を選択



更新：
会員サイトに登録されている最新のMyスポット一覧に更新する。

- 3 **地点表示**



地図画面が表示され、目的地などを設定できます。

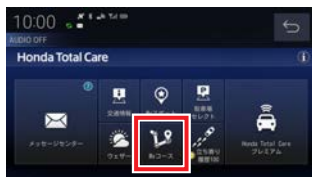
- お知らせ —
- Myスポットの登録順に、100件まで表示できます。
 - Myスポットの登録が100件を超えると、古い順にMyスポットの情報を上書きします。

- MEMO —
- Myスポットを目的地に設定する場合、目的地メニュー画面の **Myスポット** から設定できます。→ P.52

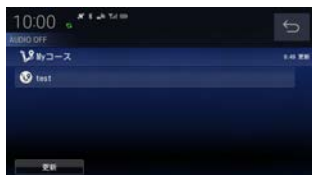
Myコースのルートを設定する

Honda Total Careの会員サイトで作成したMyコースを本機にルート設定できます。

- 1 **HOME** ▶ Honda Total Care
▶ Myコース



- 2 コース名を選択



- 3 **案内開始**



ルートが設定されます。→ P.58

- お知らせ —
- Myコースのルートを設定すると、本機でルート計算し直します。そのため、会員サイトで探索したルートと本機で案内するルートが異なる場合があります。

立ち寄り履歴100から 目的地を探す

Honda Total Careを使ってエンジンを停止した場所を立ち寄り履歴として登録できます。記録した立ち寄り履歴から目的地を検索します。

1 HOME ▶ Honda Total Care ▶ 立ち寄り履歴100



2 履歴を選択



地点の詳細情報が表示されます。
走行中の場合は地点の詳細は表示されません。
手順4に進みます。

3 地点表示



ナビゲーションの地図画面が表示されます。

4 目的地にする



目的地までのルートが設定されます。
→ P.58

MEMO

- 立ち寄り履歴100を利用するには、あらかじめ「記録開始」をタッチして、エンジンを停止した場所を記録するよう設定しておく必要があります。



立ち寄り履歴100はHonda Total Careの会員サイト、またはスマートフォンアプリからも閲覧できます。

- 「電話」をタッチすると、選択した地点に電話をかけます。
- 「Myスポット登録」をタッチすると、選択した地点をMyスポットとして登録します。
- 立ち寄り履歴100の詳細については、Honda Total Careの会員サイト、またはスマートフォンアプリからご確認ください。→ P.151

ウェザーを取得する

1 **HOME** ▶ **Honda Total Care**

▶ **ウェザー**

情報センターより気象情報を取得すると、画面に気象情報が表示されます。



現在地の天気と目的地の天気の表示を切り替えます。

— MEMO —

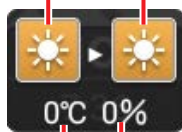
- 現在地、または目的地の気象情報が4時間ごとと16時間先まで一瞥で表示されます。
- 気象情報の表示や音声案内に関する設定は、変更できます。→ P.223

現在地周辺の気象予報を地図上に表示します。雨と雪のエリアは、地図上にアイコンでも表示されます。

地図上の気象予報簡易表示は、情報取得後30分または60分ごとに更新されます。



現在の天気 3時間後の天気



3時間後の気温

3時間後の降水確率

ウェザーを音声で案内する

走行中、お車が一定以上の降水量の気象情報（降雨、降雪情報）や災害情報（津波・地震・冠水）のある場所に入ったときに、音声案内と文字表示を行います。案内を行う条件は以下のとおりです。

- **天気・防災・渋滞 割込表示** が「する」に設定されている→ P.223
- **天気音声案内** が「する」に設定されている→ P.223
- **internavi情報 音声案内** が「する」に設定されている→ P.222

— MEMO —

- ルート案内の音量設定は別にできます。→ P.182

また、目的地設定後に気象情報を取得すると、以下の条件のときに目的地付近の気象情報を音声案内します。

- **internavi情報 音声案内** が「する」に設定されている→ P.222
- 目的地が設定されている
- 目的地到着予想時刻ごろの気象情報を取得している

車内Wi-Fiを使用する

テレマティクスユニット（TCU）経由で車両自体がWi-Fiスポットとなり、お使いの通信機器をインターネットに接続できます。

1 HOME ▶ 車内Wi-Fi

2 画面右上のアイコンをタッチして、車内Wi-FiをONにする



車内Wi-Fiが使用できます。

ご購入画面へ：

Wi-Fiプランを確認する。

Wi-Fiプランを購入することもできます。

Wi-Fi設定：

SSID（使用しているネットワーク）の名称と、通信機器を車内Wi-Fiに接続する際のパスワードを変更する。

パスワードには、半角英数字が使用できます。

— お知らせ —

- 車内Wi-Fiをご利用になるには、Honda Total Careプレミアムサービスのお申し込みが必要です。→ P.154

パソコン、スマートフォンでHonda Total Careを利用する

Honda Total Careでは、パソコンやスマートフォン向けのサービスも提供しており、会員サイトやスマートフォンアプリから利用できます。ドライブ情報の検索やお車のメンテナンス記録の管理など、便利な情報を利用できます。

— お知らせ —

- インターネットに接続できる環境が必要です。
- 利用時の通信費、プロバイダ利用料などはお客様のご負担となります。
- ホームページ、アプリケーションの内容は予告なく変更されることがあります。

● Honda Total Care会員サイト（パソコンから）

Honda Total Careのホームページからログインすることで利用できます。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

● スマートフォンアプリ（スマートフォンから）

Honda Total Care会員サイト、またはインターナビポケットから利用できます。

→ P.141

詳しくは、Honda Total Careのホームページ (<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>) をご覧ください。

— お知らせ —

- 新規入会となる方はHonda Total Care会員へ登録をお願いします。

— MEMO —

- はじめてログインする場合は、ログインID / パスワードには仮ID / 仮パスワードを入力してログインしてください。仮IDは車台番号、仮パスワードはHonda Total Care会員番号の下6桁です。Honda Total Care会員番号は会員申し込み時にお渡しする会員申込書に記載されています。

Honda Total Careについて

交通情報によるルート計算

通常のルート計算後に、インターナビルートを一時的に受信します。また、ルート案内中に定期的に情報センターに接続します。情報センターでは定期的に渋滞情報を考慮したルートを再計算し、ルートを自動配信します。

■ 6ルートのおき

現在、情報センターからは6ルートが配信されています。→ [P.142](#)

■ 情報センターへの接続

受信中でも、**取得中止** をタッチすると接続は中止されます。

■ 渋滞予測情報

交通情報では、過去のVICS情報に統計・予測処理を行って作成した渋滞予測情報（予測リンク旅行時間情報）を提供します。この情報は、VICSルート計算や到着予想時刻に反映されます。

予測リンク旅行時間情報が提供されている箇所でも、地図上に表示される渋滞、混雑、順調を示す矢印は予測情報ではありません。よって、地図で順調と示されていても、予測リンク旅行時間情報が長いとその箇所を避けるルートを案内する場合や、渋滞でも予測リンク旅行時間情報が短いとその箇所を通るルートを案内する場合があります。

インターナビ・フローティングカーシステム

Honda Total Care会員様の走行路線および走行時間の情報です。この情報を統計処理して共有することで、通常のVICS情報よりも正確なルート計算が可能です。この仕組みを応用して、都市高速のジャンクションの手前などでは、方面車線別の走行所要時間を考慮したルートを提供します。

- この情報から、個人は特定されません。
- 提供いただいたフローティングカー情報は、交通情報作成のための処理を行う以外の目的では一切使用しません。
- フローティングカー情報の情報センターへの提供は、「インターナビ」のフローティングカー情報提供が「する」に設定されている場合に行われます。

→ [P.187](#) 「インターナビの設定をする」

Honda Total Care サービス更新

Hondaから提供されるHonda Total Careのサービスは更新されることがあります。Honda Total Careサービスに更新がある場合は、画面上部に更新アイコンが表示されます。

1 画面上部の更新アイコンをタッチ

更新メッセージのポップアップが表示されます。

更新アイコン



2 Honda Total Careサービスを更新できます

3 更新



4 確認

ダウンロード完了後、次回車のエンジンスイッチをONにしたときにHonda Total Careが更新されます。

MEMO

- 走行中は安全のため操作できません。

自動地図データ更新 サービスについて

Honda Total Careプレミアムでは、最新地図データの配信サービスがあります。最新の地図データでルート案内を利用できます。

ご利用にはHonda Total Careプレミアムのお申し込みが必要です。詳しくはHonda Total Careプレミアムのホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>

会員サービスの解約時について



Honda Total Careプレミアムを解約されると、今まで配信された地図データは表示されなくなり、工場出荷時の地図データが表示されます。



自動地図データ更新アイコン

Honda Total Careプレミアムにご加入いただいていると表示します。

お知らせ

- 配信された地図情報が表示されているときは、画面に  (青色) が表示されます。
- 通信できない状況またはダウンロードされていない地図上では、 (灰色) が表示されます。このとき、本機にあらかじめ内蔵されている地図データのみ表示されます。

MEMO

- 自動地図データ更新サービスについて詳しくは、Honda Total Careプレミアム自動地図更新サービスのホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/howto/mapupdate/01/>

Honda Total Care プレミアムサービスに ついて

Honda Total Careプレミアムでは、さらに以下のようなサービスもあります。

- 緊急サポートセンター
- Hondaリモート操作
- Honda ALSOK駆けつけサービス
- Hondaデジタルキー

Honda Total Careプレミアムをご利用になるには、Honda Total Careにご加入いただいたうえ、Honda Total Careプレミアムへのお申し込みが必要です。

Honda Total Careプレミアムのお申し込み方法や、各サービスの詳細につきましては、以下のWebサイトをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>

◆ MEMO

- Honda Total Careプレミアムサービスは、今後変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
-